

# 株式会社メイテック

## 2018年3月期 第2四半期

### 決算説明会

2017年11月7日

代表取締役社長 グループCEO  
國分 秀世

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

Engineering Firm at The Core

- 1. 2018年3月期第2四半期 業績**
- 2. 2018年3月期 業績予想**
- 3. ご参考資料**

- では、2018年3月期第2四半期の業績、2018年3月期の業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

# 1. 2018年3月期 第2四半期 業績

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**  
Engineering Firm at The Core

- まず、2018年3月期第2四半期の業績を説明します。

## 2018年3月期業績 第2四半期 グループ連結

- ✓ 前期比で、売上高は4.0%増収、営業利益は7.3%増益
- ✓ 四半期純利益は、主に本社移転費用（費用先行）を特別損益で計上したため、前期比で微増の1.7%増益

(百万円未満切捨て)	2017年3月期 2Q実績	2018年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2017年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	44,111	45,867	+1,756	+4.0%	45,000	+867
売上原価	32,861	34,049	+1,187	+3.6%	33,400	+649
原価率	74.5%	74.2%	▲0.3%			
販売管理費	6,178	6,375	+196	+3.2%	6,800	▲424
営業利益	5,071	5,442	+371	+7.3%	4,800	+642
営業利益率	11.5%	11.9%	+0.4%		10.7%	+1.2%
経常利益	5,074	5,447	+372	+7.3%	4,800	+647
特別損益	△0	△60	▲59			
税金等調整前四半期純利益	5,073	5,386	+312	+6.2%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,466	3,526	+59	+1.7%	3,100	+426
四半期純利益率	7.9%	7.7%	▲0.2%			

- グループ連結の業績です。
  - 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、連結売上高の9割を占めるエンジニアリングソリューション事業が業績をけん引し
  - 売上高は、前年同期比4.0%増収の458億67百万円、営業利益は7.3%増益の54億42百万円となりました。
  - 四半期純利益は、本社移転等に伴う費用を特別損失で計上したため、前年同期比1.7%増益の35億26百万円となりました。
- のちほど本社移転に関する内容について説明させていただきます。

## 2018年3月期業績 第2四半期 グループ・セグメント

- ✓ エンジニアリングソリューション事業が業績をけん引⇒前期比で売上高は6.0%増収
- ✓ エンジニア紹介事業は前期にサービス提供を終了した中国（上海）子会社等の影響で▲3.3%減収となったが、メイテックネクストは引き続き増収

(百万円未満切捨て)	2017年3月期 2Q実績	2018年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	42,540	45,100	+2,560	+6.0%
構成比	96.4%	98.3%	+1.9%	
営業利益	4,785	5,163	+377	+7.9%
エンジニア紹介事業 売上高	846	818	▲27	▲3.3%
構成比	1.9%	1.8%	▲0.1%	
営業利益	299	279	▲19	▲6.6%

8

- グループ・セグメントの業績は記載の通りです。
- エンジニアリングソリューション事業は前年同期比売上6.0%の増収、営業利益は7.9%の増益、エンジニア紹介事業は、減収減益となっておりますが、前期にサービス提供を終了した中国（上海）子会社等の影響によるものであり、メイテックネクストは増収となっております。

# 2018年3月期業績 第2四半期 メイテック

- ✓ 前期比で、売上高は4.3%増収、営業利益は8.1%増益、エンジニア社員数は1.7%増加
- ✓ 新卒エンジニアの配属が順調に進められたこと等を背景に、稼働率は前期比+1.5%

(百万円未満切捨て)	2017年3月期 2Q実績	2018年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2017年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	34,073	35,544	+1,471	+4.3%	35,000	+544
売上原価	25,545	26,601	+1,055	+4.1%	26,100	+501
原価率	75.0%	74.8%	▲0.2%		74.6%	+0.3%
販売管理費	4,426	4,512	+85	+1.9%	4,900	▲389
営業利益	4,100	4,430	+330	+8.1%	4,000	+430
営業利益率	12.0%	12.5%	+0.5%		11.4%	+1.0%
経常利益	4,679	5,179	+500	+10.7%	4,700	+479
特別損益	12	△ 29	▲41			
税引前四半期純利益	4,691	5,149	+458	+9.8%		
四半期純利益	3,279	3,608	+329	+10.0%	3,200	+408
稼働率(全体)	95.3%	96.8%	+1.5%		95.7%	+1.1%
稼働時間<h/day>	8.74	8.68	▲0.06	▲0.7%	8.74	▲0.06
エンジニア社員数<名>	6,735	6,850	+115	+1.7%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加等により、売上高は、前年同期比4.3%増収の355億44百万円、営業利益は、8.1%増益の44億30百万円、四半期純利益は、10%増益の36億8百万円となりました。
- 稼働率は、新卒エンジニア社員の配属が順調に進められたため、前年同期比で+1.5%の96.8%となりました。
- なお、稼働時間は、前年同期比、期初予想比共に▲0.06時間低下しました。  
のちほど詳細を説明します。

# 2018年3月期業績 第2四半期 メイテックフィルダース

- ✓ 前期比で、売上高は13.1%増収、営業利益は5.6%増益、エンジニア社員数は14.9%増加
- ✓ 四半期純利益は前期の税負担の軽減による影響が発生しなかった為、前期比11.6%の減益

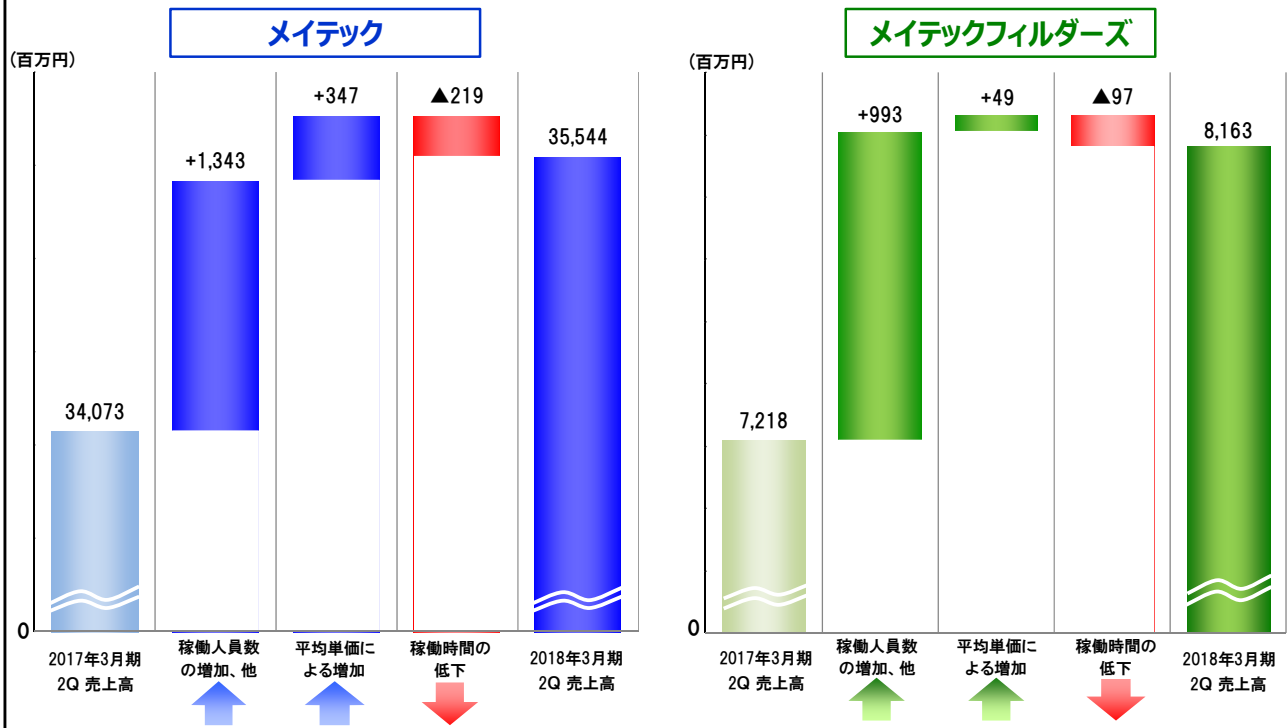
(百万円未満切捨て)	2017年3月期 2Q実績	2018年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2017年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	7,218	8,163	+944	+13.1%	7,900	+263
売上原価	5,637	6,357	+719	+12.8%	6,200	+157
原価率	78.1%	77.9%	▲0.2%		78.5%	▲0.6%
販売管理費	939	1,129	+189	+20.2%	1,100	+29
営業利益	641	677	+35	+5.6%	600	+77
営業利益率	8.9%	8.3%	▲0.6%		7.6%	+0.7%
経常利益	639	674	+34	+5.4%	600	+74
特別損益	0	0	—			
税引前四半期純利益	639	674	+34	+5.4%		
四半期純利益	523	462	▲60	▲11.6%	400	+62
稼働率(全体)	94.5%	94.1%	▲0.4%		93.2%	+0.9%
稼働時間<h/day>	8.87	8.75	▲0.12	▲1.4%	8.87	▲0.12
エンジニア社員数<名>	1,969	2,262	+293	+14.9%		

10

- メイテックフィルダースの業績です。
- メイテック同様、稼働人員数の増加等を主因に、売上高は、前年同期比13.1%増収の81億63百万円、営業利益は、5.6%増益の6億77百万円、四半期純利益は、前期の税負担の軽減等の影響が発生しなかったため、前年同期比11.6%減益の4億62百万円となりました。
- 稼働率は、今年4月入社エンジニア社員数が前期より若干多かったため、前年同期比▲0.4%低い状況となっておりますが、94.1%となりました。
- 稼働時間は、メイテック同様、低下が見られましたが、詳細は、のちほど説明します。

# 売上高前年同期比較

✓ メイテック、メイテックフィルダース共に、増収の主要因は「稼働人員数の増加」、「平均単価による増加」



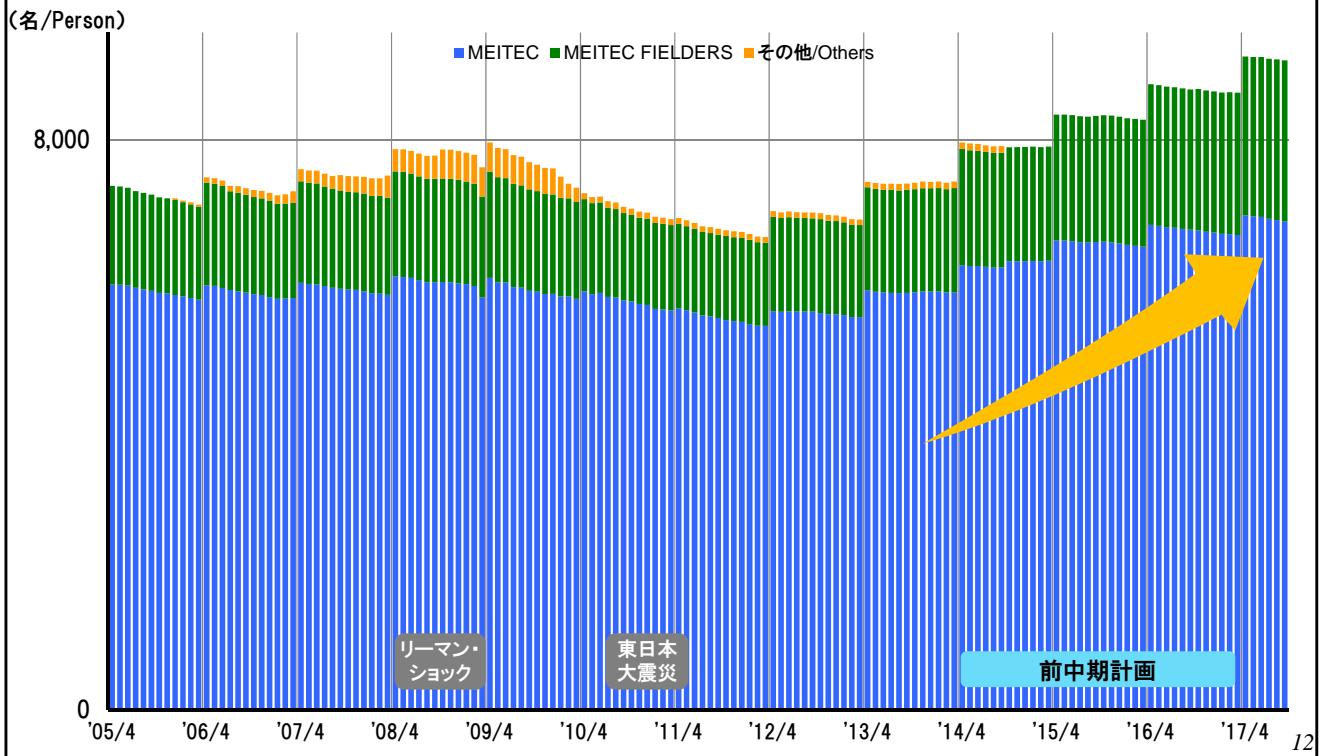
11

- メイテック、メイテックフィルダースの売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」、「平均単価による増加」であり、その影響額は記載の通りです。



# エンジニア社員数 グループ連結

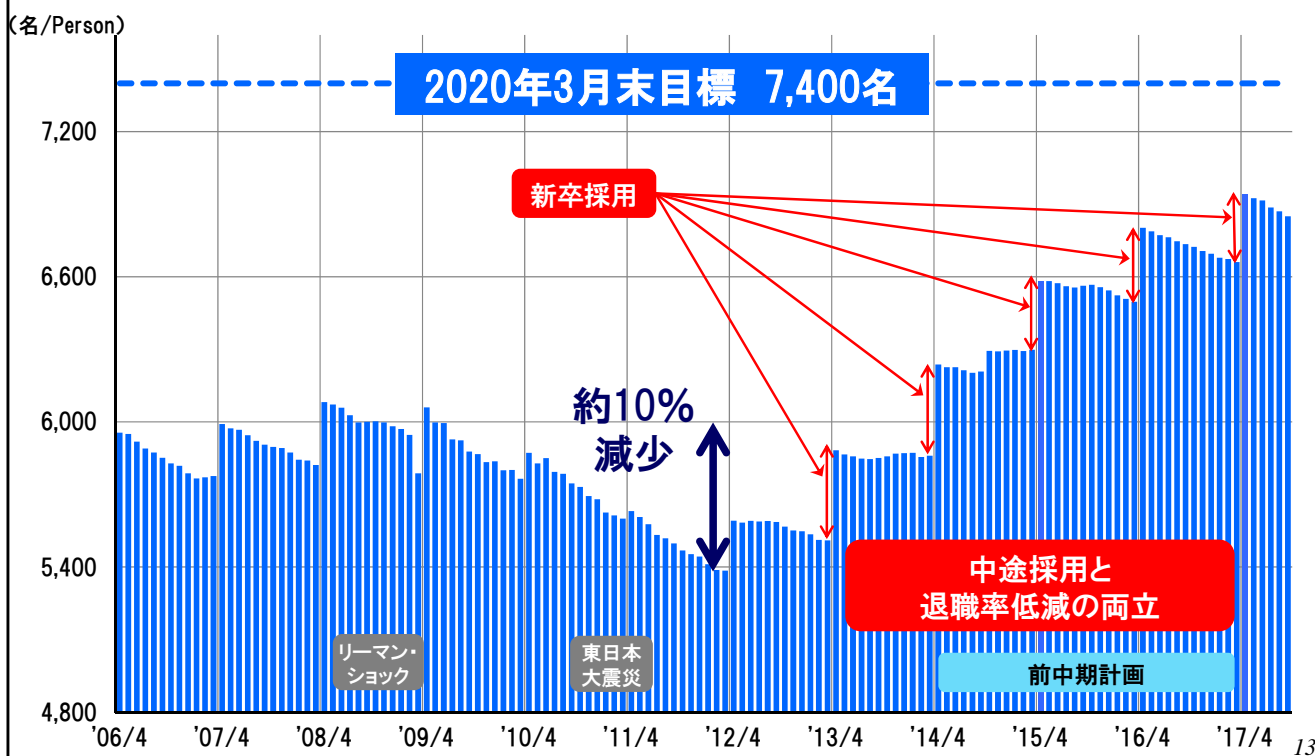
✓ 9月末のエンジニア社員数は9,112名（前年9月末比+408名、+4.7%）



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 2017年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+408名、+4.7%増の9,112名となりました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に着実に増員できています。

# エンジニア社員数 メイテック

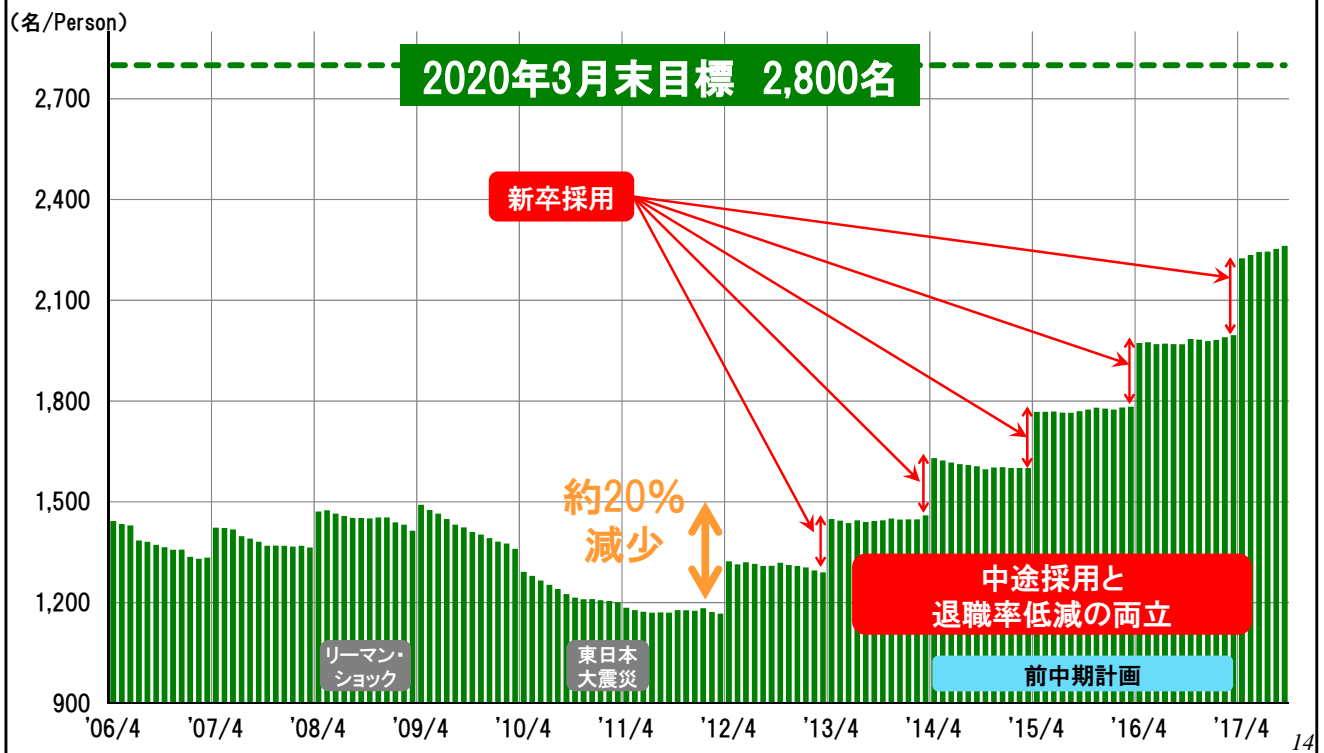
✓ 9月末エンジニア社員数は6,850名（前年9月末比+115名、+1.7%）



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 2017年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+115名、+1.7%増の6,850名となりました。
- 中期経営計画で掲(かか)げた、2020年3月末のエンジニア社員数の目標7,400名ですが、今後も中途採用と退職率低減の両立を鍵として取り組んでまいります。

# エンジニア社員数 メイテックフィルダース

✓ 9月末エンジニア社員数は2,262名（前年9月末比+293名、+14.9%）



- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 2017年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+293名、+14.9%増の2,262名となりました。
- メイテック同様、中途採用と退職率低減の両立をすすめながら、中期経営計画で掲(かか)げた2020年3月末のエンジニア社員数の目標2,800名を目指します。

# 2018年3月期の採用状況

**中途採用（2018年3月期）**

- ✓ メーカーをはじめ、技術者の求人ニーズに衰えは見られず、採用環境は継続して厳しい状況
- ✓ こうした状況下、受注動向に即した機械系・電気電子系を中心に採用基準を保持し、円滑な配属を前提とした活動を継続中
- ✓ 採用目標数は、メイテックは期初予想から変更なし、メイテックフィルダースは「幅広い業務で拡大成長」を加速するため、同比+65名の280名

**新卒採用（2018年4月入社）**

- ✓ 採用環境は極めて厳しい状況の中、新卒世代の傾向を念頭に置き、採用基準保持を前提とした活動を継続
- ✓ 応募者の業界絞り込み早期化や、地元への就職志向が依然として強いことから、応募者数確保に苦戦
- ✓ 採用者数はメイテックで期初予想比+9名の369名、メイテックフィルダースは同比▲33名の197名

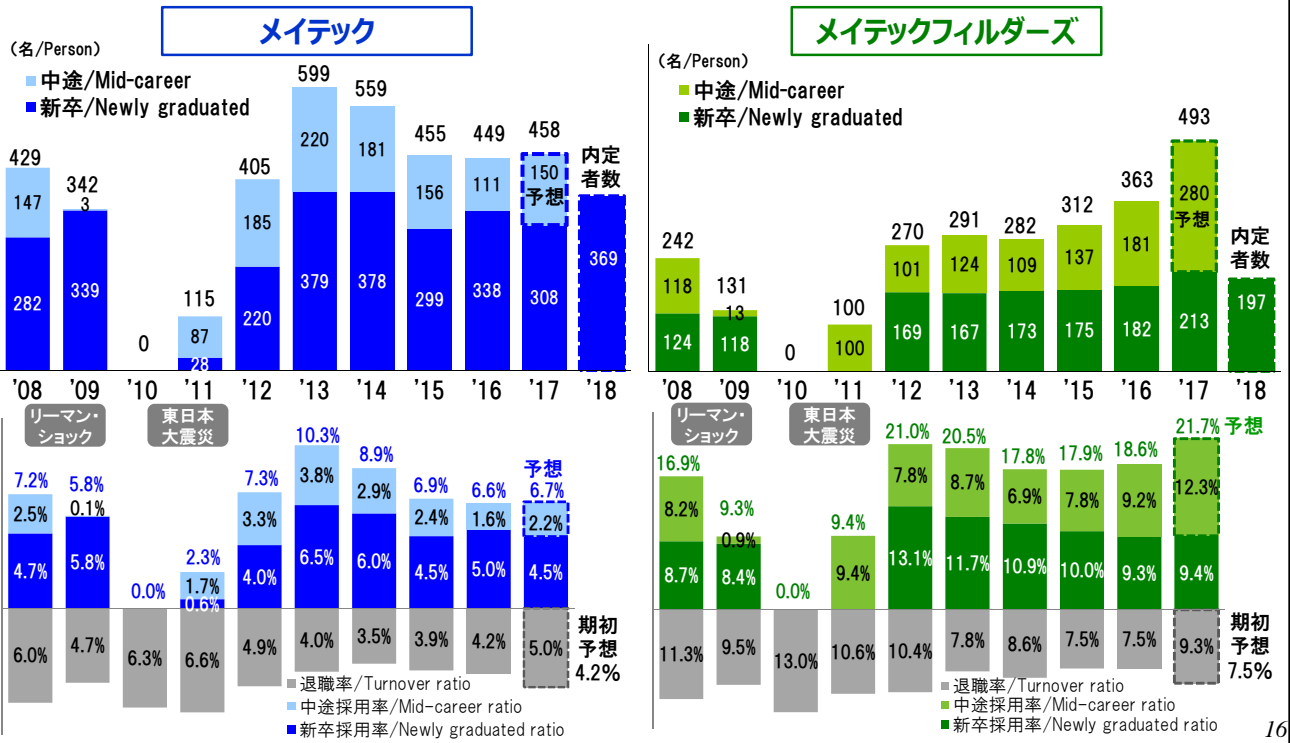
(名)	2018年3月期				2019年3月期		
	17年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		18年4月入社 新卒採用数 (10月1日内定者数)	期初予想比
		<目標>	期初予想比	<目標>	期初予想比		
メイテック	308	150	—	458	—	369	+9
メイテック フィルダース	213	280	+65	493	+65	197	▲33
合計	521	430	+65	951	+65	566	▲24
17年3月期比	+1	+138		+139			

15

- まず、中途採用の状況ですが、技術者の求人ニーズに衰えは見られません。当社としては、受注動向に則して「質を重視」し、採用基準を保持しながら、採用に注力しています。  
なお、上半期の状況を踏まえ、中途採用目標数を期初予想に対し、メイテックは変更なし、メイテックフィルダースは+65名に変更しました。
- 次に、2018年4月入社の新卒採用の状況です。  
応募者の業界絞り込みの早期化や地元への就職志向が依然として強いことなどから、応募者数の確保に苦戦を強いられましたが、採用基準の保持を前提としつつ、新卒世代の傾向をしっかりと把握し、念頭に置きながら、さまざまな工夫を凝らして活動した結果、10月1日の内定者数は、期初予想比グループ全体で▲24名の566名となりました。
- なお、新聞報道によると、内定者数は日本企業全体では21位、理工系だけでは3年連続2位とのことでした。  
これは、メイテックグループであれば安心してプロのエンジニアとして生涯働き続けられるということが、労働市場において、一定のご理解、共感を得ている一つの成果と考えております。
- これからも「就社」ではなく「就職」、エンジニアという働き方を世の中に訴求しながらもメイテックグループの採用ブランドを更に強固にしていきたいと考えています。

# 採用と退職

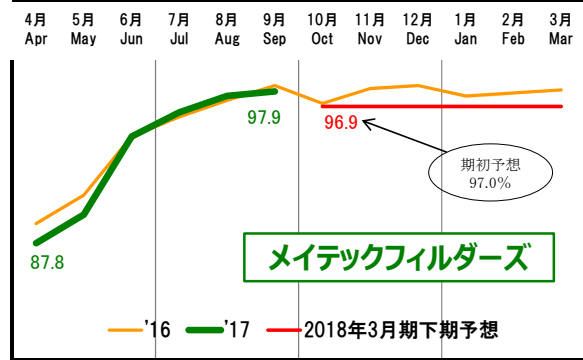
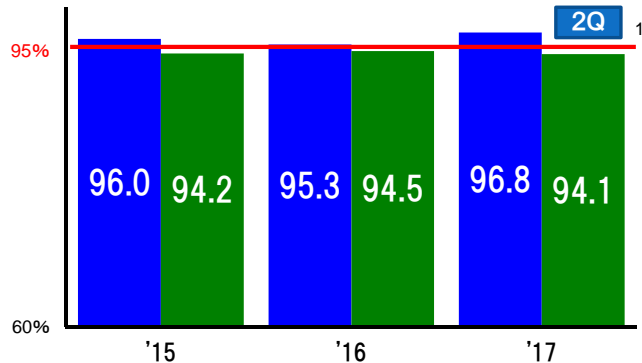
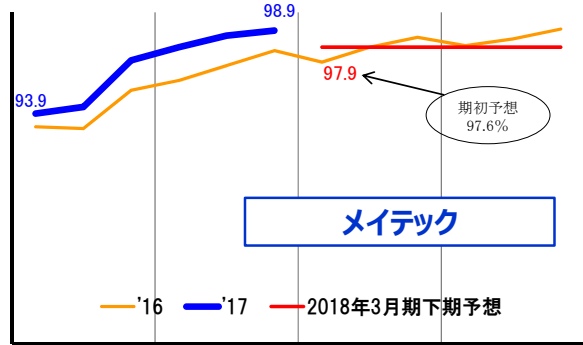
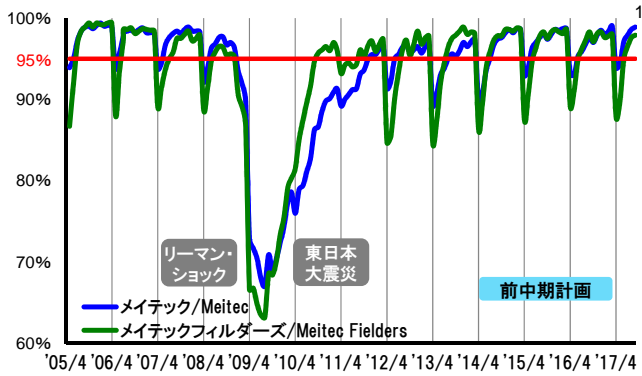
✓ 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率見込みは以下の通り  
※採用率・退職率の実績は来年5月に公表予定



- 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みです。
- 退職率の見込みは、上半期実績を踏まえ、  
 メイテックは期初予想の4.2%から5.0%、  
 メイテックフィルダースは期初予想の7.5%から9.3%に修正しました。

# 稼働率

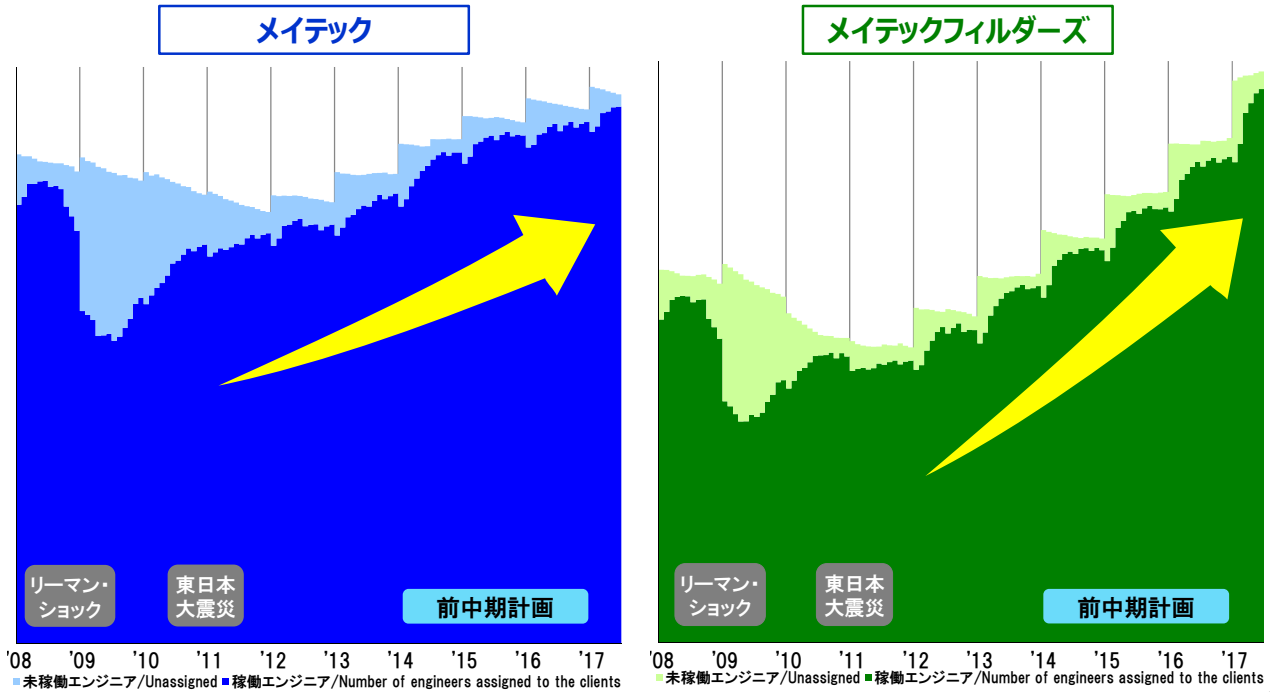
- ✓ 堅調な受注環境の下で稼働率は高水準を維持
- ✓ メイテックは新卒エンジニア社員の配属が期初計画より順調に進んだため、前年同期実績を上回った



- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダース共に、堅調な受注環境の下、稼働率は安定的に推移しました。

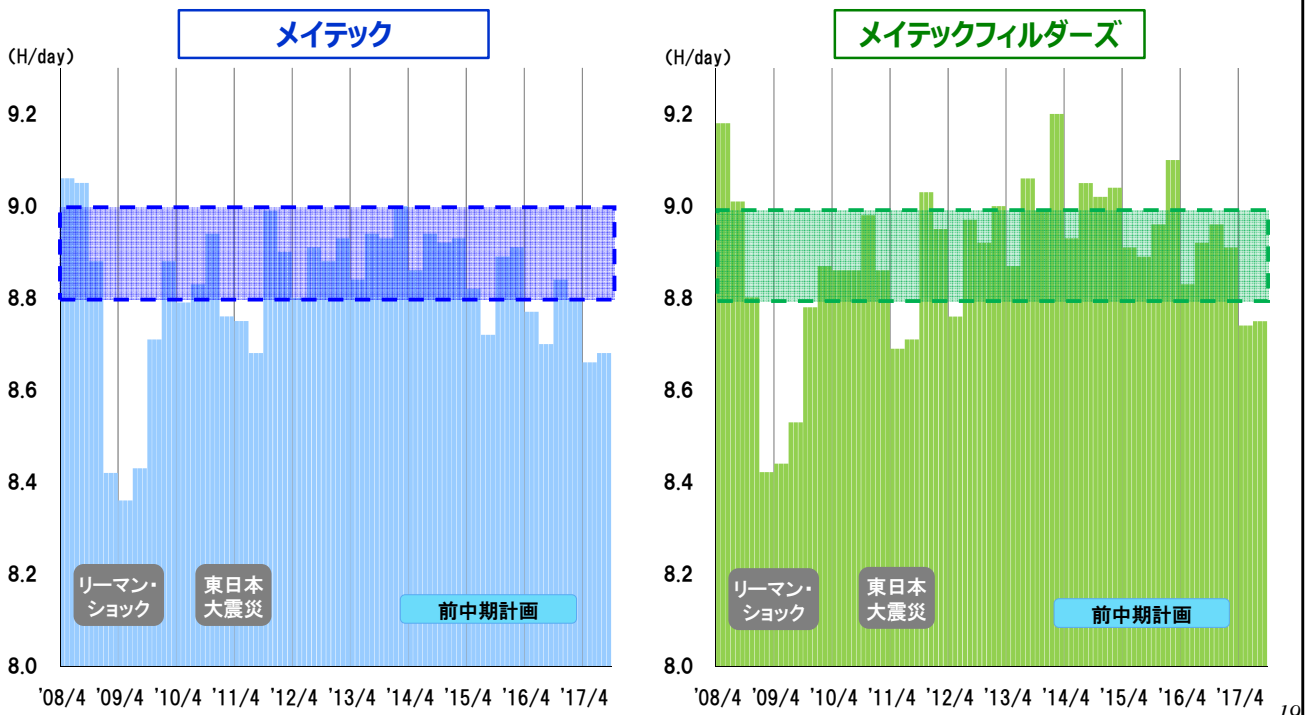
# 稼働人員数 (売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長



- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。

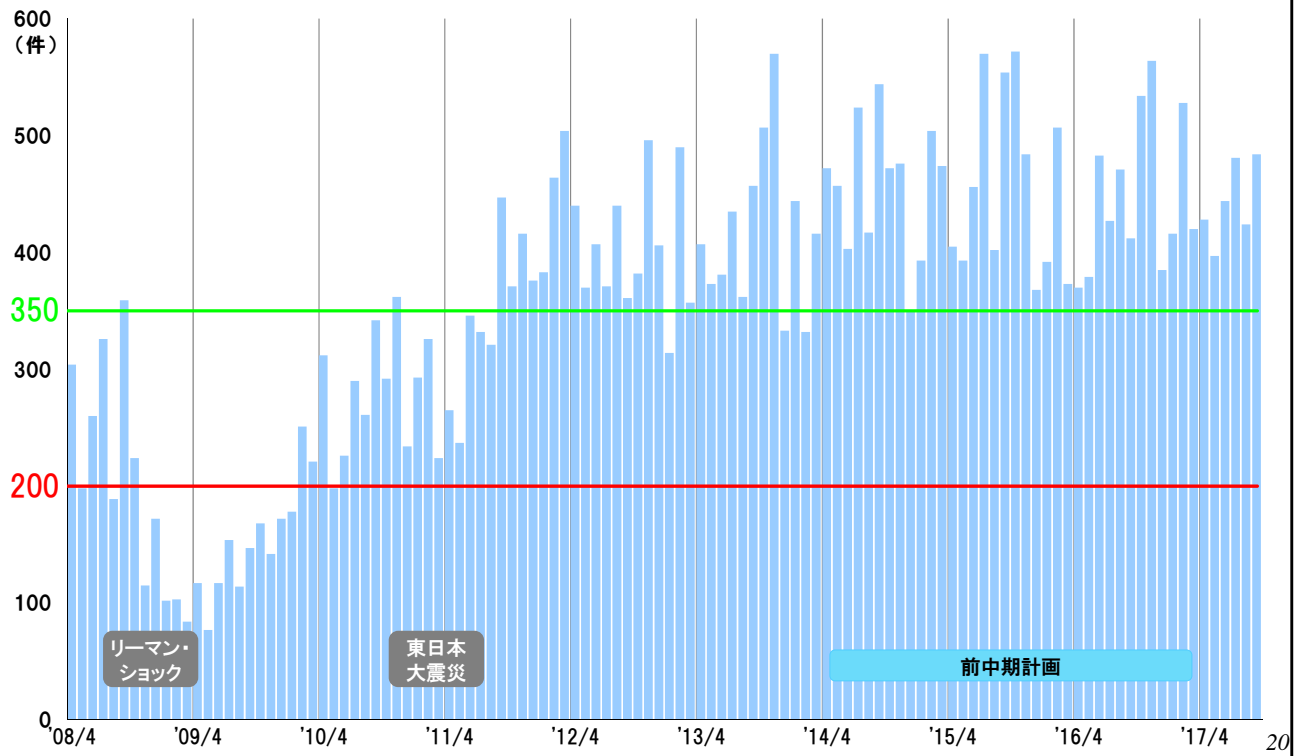
✓ 昨今の働き方改革への対応等による、時間外労働の減少を背景に前年比で低下



- 稼働時間の推移です。
- 昨今の働き方改革への対応等による、時間外労働の減少を背景に、前年同期比で減少しています。
- 稼働時間は、お客さまの業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能ではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%変動することから、業績影響の大きい指標の一つであるため、継続して注視していきます。



✓ メイテック単体の月間新規受注は、350件/月を超える水準を維持



- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調、200件を下回る水準は危険な状態、と判断してきました。
- 足元は製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められていると実感していますし、その結果が新しい受注の推移と認識しています。

# お客様の売上TOP10 メイテック

✓ お客様（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

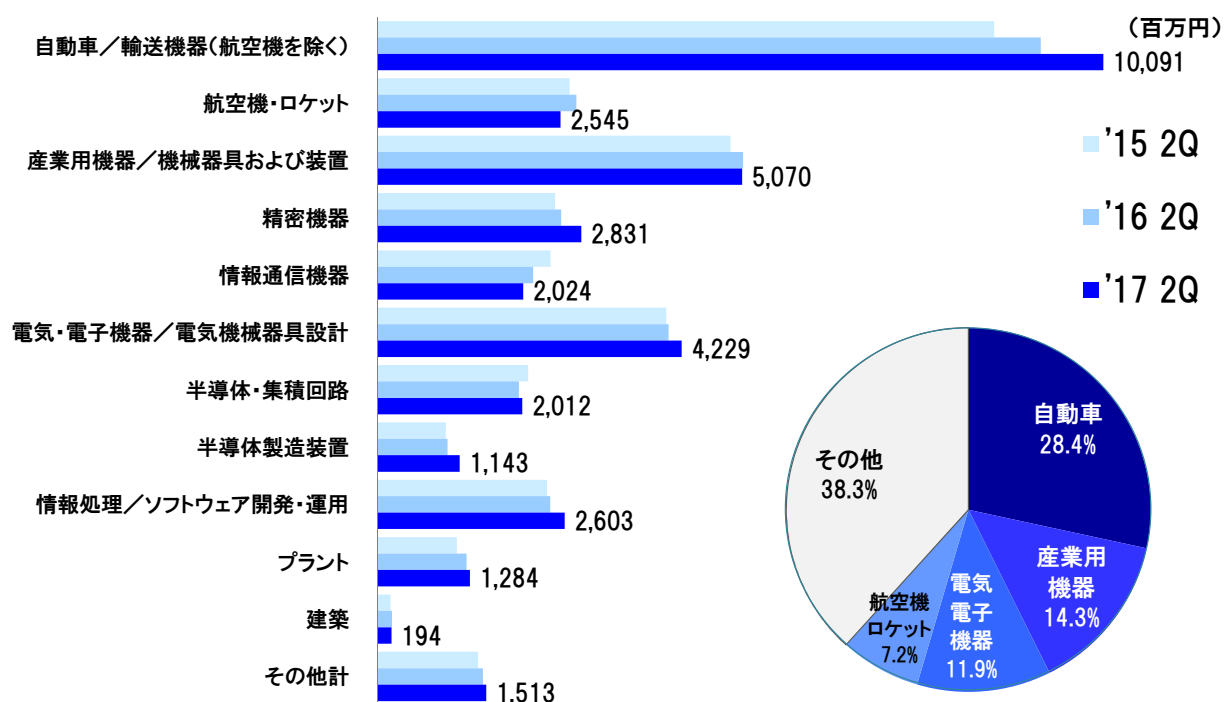
(百万円)

2013年3月期2Q (2012年度)			2017年3月期2Q (2016年度)			2018年3月期2Q (2017年度)		
1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	パナソニック 様		2	デンソー 様		2	デンソー 様	
3	ニコン 様		3	キヤノン 様		3	キヤノン 様	
4	キヤノン 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	デンソー 様		5	ニコン 様		5	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
6	ソニー 様		6	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		6	ニコン 様	
7	川崎重工業 様		7	トヨタ自動車 様		7	トヨタ自動車 様	
8	トヨタ自動車 様		8	川崎重工業 様		8	川崎重工業 様	
9	ダイキン工業 様		9	三菱航空機 様		9	オートリブ 様	
10	オムロン 様		10	オムロン 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	7,737	28.5%	トップ10社合計	8,428	24.7%	トップ10社合計	8,501	23.9%
トップ20社合計	10,680	39.4%	トップ20社合計	11,885	34.9%	トップ20社合計	12,263	34.5%
その他	16,445	60.6%	その他	22,188	65.1%	その他	23,281	65.5%
合計	27,125	100.0%	合計	34,073	100.0%	合計	35,544	100.0%

21

- メイテックのお客様の売上TOP10です。
- 順位に変動はありますが、TOP10圏内に入るお客様に大きな変化はありません。
- たえずお客様の中での新しいプロジェクト、あるいは新しい技術開発テーマに即した、成長セクター、分野、新しい技術領域へ意図的なローテーションを図りながらも、我々エンジニアの技術を高めつつ、お客様に対する付加価値を高めていく取り組みを続けていきます。
- 特定のお客様に偏(かたよ)らず、幅広くサービスを展開することは、メイテックの強みですので、これからもその強みを強めてまいります。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



22

- 業種別の売上高です。
- 「自動車関連」の伸びが引き続き顕著です。  
広い分野や業種のお客さまと取引させて頂くことにより、特定の分野や業種が厳しい状況にあっても、意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることを可能としています。

## 2. 2018年3月期 業績予想

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**  
Engineering Firm at The Core

- 続いて、2018年3月期の業績予想などを足元の状況を踏まえて修正しましたので、その概要を説明します。

## 2018年3月期業績予想 グループ連結 期初予想比

- ✓ 売上高は、稼働人員数の増加等を見込み、期初予想比+10億円(+1.1%)上方修正
- ✓ 営業利益は、期初予想比+5億円(+4.8%)=【上半期+6億円】+【下半期▲1億円】  
⇒下半期が期初予想比減益の要因は、販売管理費の費消が下半期にズレたこと
- ✓ 当期純利益：期初予想比+4億円(+5.7%)=【上半期+約4億円】+【下半期ほぼ±ゼロ】

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	93,000	+1,000	+1.1%	45,867	47,132	+132	+0.3%
売上原価	68,700	+800	+1.2%	34,049	34,650	+150	+0.4%
販売管理費	13,400	▲300	▲2.2%	6,375	7,024	+124	+1.8%
営業利益	10,900	+500	+4.8%	5,442	5,457	▲142	▲2.6%
営業利益率	11.7%	+0.4%		11.9%	11.6%	▲0.3%	
経常利益	10,900	+500	+4.8%	5,447	5,452	▲147	▲2.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,400	+400	+5.7%	3,526	3,873	▲26	▲0.7%
1株当たり当期純利益(EPS)	260.14	+14.07		123.96			

25

- 2018年3月期のグループ連結の新たな業績予想と期初予想との比較です。
- 連結の売上高は、上半期実績が期初予想を上回り、稼働人員数の増加等も見込んでいるため、期初予想比+10億円上方修正の930億円、なお、営業利益の修正の内容は  
上半期+約6億円、下半期は▲約1億円ですが、これは販売管理費の費消が、  
上半期から下半期にズレた影響が主因です。
- 当期純利益は、期初予想比+4億円の74億円に修正致しました。

## 2018年3月期業績予想 グループ連結 前期比

- ✓ 売上高は前期比+3.4%の930億円、営業利益、経常利益は同比▲2.2%の109億円を予想
- ✓ 営業利益の減益は、期初から計画した販売管理費の増加を見込んでいるため
- ✓ 当期純利益は前期比▲6.8%の74億円を予想

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	93,000	+3,020	+3.4%	45,867	47,132	+1,264	+2.8%
売上原価	68,700	+2,282	+3.4%	34,049	34,650	+1,095	+3.3%
販売管理費	13,400	+981	+7.9%	6,375	7,024	+784	+12.6%
営業利益	10,900	▲242	▲2.2%	5,442	5,457	▲614	▲10.1%
営業利益率	11.7%	▲0.7%		11.9%	11.6%	▲1.6%	
経常利益	10,900	▲245	▲2.2%	5,447	5,452	▲618	▲10.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,400	▲537	▲6.8%	3,526	3,873	▲597	▲13.4%
1株当たり当期純利益(EPS)	260.14	▲14.19		123.96			

26

- 続いて、前期実績との比較です。  
売上高は、前期比+3.4%、+30億円の増収、  
営業利益は、前期比▲2.2%、▲2億円の減益予想としました。4月からスタートした新中期経営計画の競争力強化のための投資を行っていくために減益という計画にさせていただいております。
- 当期純利益は前期比▲6.8%、▲5億円の減益予想としましたが、減益の背景は、のちほど各社別に説明致します。

# 2018年3月期業績予想 メイテック 期初予想比

- ✓ 売上高は期初予想比+5億円(+0.7%)=【上半期+5億円】+【下半期ほぼ±ゼロ】
- ✓ 営業利益は期初予想比+4億円(+4.7%)=【上半期+約4億円】+【下半期ほぼ±ゼロ】

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率			
売上高	72,000	+500	+0.7%	35,544	36,455	▲44	▲0.1%			
売上原価	53,500	+400	+0.8%	26,601	26,898	▲101	▲0.4%			
原価率	74.3%	—	—	74.8%	73.8%	▲0.2%	—			
販売管理費	9,500	▲300	▲3.1%	4,512	4,987	+87	+1.8%			
営業利益	9,000	+400	+4.7%	4,430	4,569	▲30	▲0.7%			
営業利益率	12.5%	+0.5%	—	12.5%	12.5%	▲0.1%	—			
経常利益	9,700	+400	+4.3%	5,179	4,520	▲79	▲1.7%			
当期純利益	6,800	+300	+4.6%	3,608	3,191	▲108	▲3.3%			
稼働率(全体)	97.3%	+0.7%	—	96.8%	97.9%	+0.3%	—			
稼働時間<h/day>	8.72	▲0.06	—	8.68	8.76	▲0.06	—			
採用数<名>	458	—	—	2018年4月入社の新卒採用見込み数		期初 予想比				
新卒採用数	308	—	369					+9		
中途採用数	150	—								
退職率	5.1%	+0.9%	—							

27

- メイテック単体の新たな業績予想と  
期初予想との比較です。
- 上半期実績が期初予想を上回ったため、  
売上高は、期初予想比+5億円で、上半期+5億円、  
下半期ほぼ±ゼロ、  
営業利益は、期初予想比+4億円で、上半期+約4億円、  
下半期は、ほぼ±ゼロとしました。  
売上の下半期予想は、主に、稼働時間の減少を  
見込んでいますが、稼働率等の上昇で相殺されるため、  
期初予想と略(ほぼ)同水準としました。
- なお、販売管理費は、システム関連費用等の費消が  
若干減少したため、期初予想比で▲3億円を見込んで  
います。

# 2018年3月期業績予想 メイテック 前期比

- ✓ 売上高は前期比2.7%増収の720億円、営業利益は同比▲2.3%の90億円を予想
- ✓ 販売管理費は、期初から計画した採用関連費用とシステム関連費用の増加

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	72,000	+1,916	+2.7%	35,544	36,455	+444	+1.2%
売上原価	53,500	+1,486	+2.9%	26,601	26,898	+430	+1.6%
原価率	74.3%	+0.1%		74.8%	73.8%	+0.3%	
販売管理費	9,500	+643	+7.3%	4,512	4,987	+557	+12.6%
営業利益	9,000	▲213	▲2.3%	4,430	4,569	▲543	▲10.6%
営業利益率	12.5%	▲0.6%		12.5%	12.5%	▲1.7%	
経常利益	9,700	▲98	▲1.0%	5,179	4,520	▲598	▲11.7%
当期純利益	6,800	▲273	▲3.9%	3,608	3,191	▲603	▲15.9%
稼働率(全体)	97.3%	+0.6%		96.8%	97.9%	▲0.3%	
稼働時間<h/day>	8.72	▲0.06		8.68	8.76	▲0.06	
採用数<名>	458	+9					
新卒採用数	308	▲30					
中途採用数	150	+39					
退職率	5.1%	+0.9%					
				2018年4月入社の新卒採用見込み数		17年4月実績比	
				369		+61	

28

- 続いて、前期実績との比較です。
- 売上高は、前期比+2.7%の720億円、
- 営業利益は、前期比▲2.3%の90億円に修正致しました。
- 営業利益減益の背景は、期初から計画した採用関連費用とシステム関連費用等の販売管理費の増加を見込んでいるためです。
- これらにより当期純利益は、前期比▲3.9%の68億円としました。



# 2018年3月期業績予想 メイテックフィルダース 期初予想比

- ✓ 売上高は期初予想比+3億円(+1.8%)=【上半期+3億円】+【下半期ほぼ±ゼロ】
- ✓ 営業利益は期初予想比+1億円(+7.7%)=【上半期+1億円】+【下半期ほぼ±ゼロ】

(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	16,700	+300	+1.8%	8,163	8,536	+36	+0.4%
売上原価	12,900	+100	+0.8%	6,357	6,542	▲57	▲0.9%
原価率	77.2%	▲0.8%		77.9%	76.6%	▲1.0%	
販売管理費	2,400	+100	+4.3%	1,129	1,270	+70	+5.9%
営業利益	1,400	+100	+7.7%	677	722	+22	+3.3%
営業利益率	8.4%	+0.5%		8.3%	8.5%	+0.3%	
経常利益	1,400	+100	+7.7%	674	725	+25	+3.6%
当期純利益	900	—	—	462	437	▲62	▲12.6%
稼働率(全体)	95.5%	+0.4%	期初予想比 +0.9%	94.1%	96.9%	▲0.1%	
稼働時間<h/day>	8.79	▲0.12		8.75	8.82	▲0.12	
採用数<名>	493	+65		2018年4月入社の 新卒採用見込み数		期初 予想比	
新卒採用数	213	—					
中途採用数	280	+65					
退職率	9.3%	+1.8%		197		▲33	

29

- メイテックフィルダースの新たな業績予想と期初予想との比較です。
- メイテック同様、上半期実績が期初予想を上回ったため、
- 売上高は、期初予想比+3億円で、上半期+約3億円、下半期ほぼ±ゼロ、
- 営業利益は、期初予想比+1億円で、上半期+約1億円、下半期は、ほぼ±ゼロとしました。
- 売上の下半期予想は、稼働時間の減少を見込んでいますが、中途採用目標数増加(+65名)による稼働人員数の増加等で相殺されるため、期初予想と略(ほぼ)同水準としました。
- また、販売管理費の下半期予想は、中途採用目標数の増加を織り込んでいます。

## 2018年3月期業績予想 メイテックフィルダース 前期比

- ✓ 売上高は前期比12.3%増収の167億円、営業利益は同比+4.0%の14億円を予想
- ✓ 販売管理費は、期初から計画した採用関連費用とシステム関連費用の増加

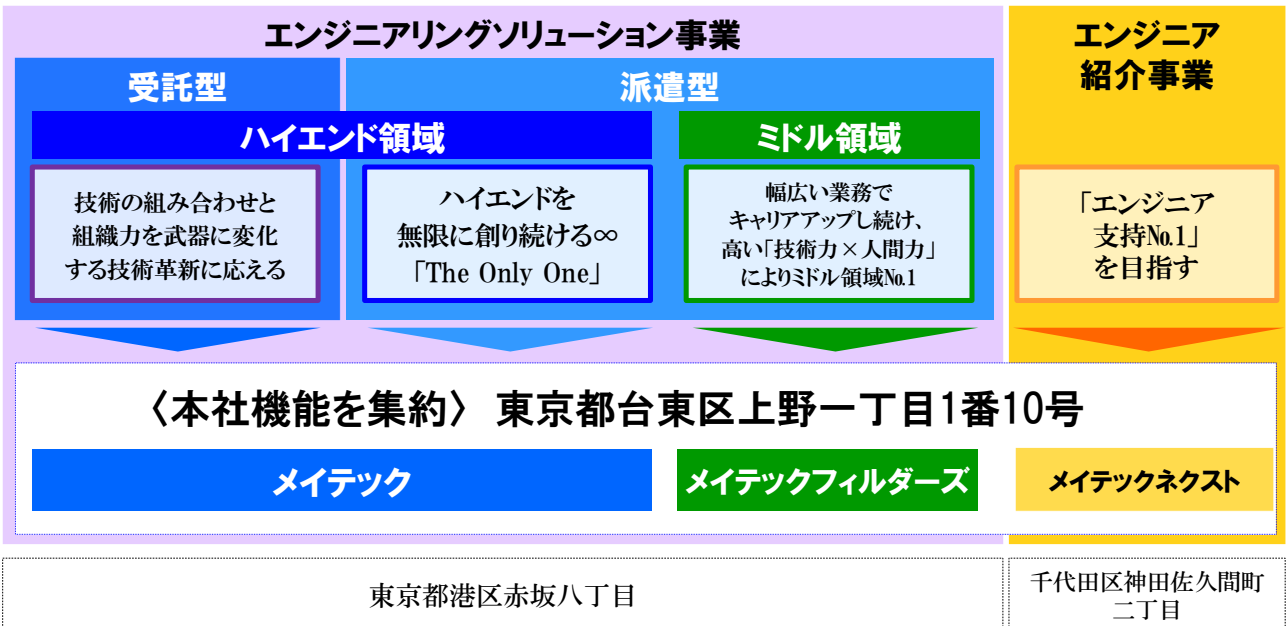
(百万円未満切捨て)	'18年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	16,700	+1,834	+12.3%	8,163	8,536	+889	+11.6%
売上原価	12,900	+1,359	+11.8%	6,357	6,542	+640	+10.9%
原価率	77.2%	▲0.4%		77.9%	76.6%	▲0.6%	
販売管理費	2,400	+421	+21.3%	1,129	1,270	+231	+22.3%
営業利益	1,400	+53	+4.0%	677	722	+17	+2.5%
営業利益率	8.4%	▲0.7%		8.3%	8.5%	▲0.7%	
経常利益	1,400	+53	+3.9%	674	725	+18	+2.6%
当期純利益	900	▲145	▲13.9%	462	437	▲85	▲16.3%
稼働率(全体)	95.5%	▲0.7%		94.1%	96.9%	▲0.9%	
稼働時間<h/day>	8.79	▲0.12		8.75	8.82	▲0.12	
採用数<名>	493	+130		2018年4月入社の 新卒採用見込み数		17年4月 実績比	
新卒採用数	213	+31					
中途採用数	280	+99					
退職率	9.3%	+1.8%		197		▲16	

30

- 続いて、前期実績との比較です。  
売上高は、前期比+12.3%、約18億円増収の167億円としています。
- 営業利益は、前期比+4.0%増益の14億円としました。
- 販売管理費は、前期比で+21.3%増加していますが、これは、採用関連費用とシステム関連費用の増加によるものです。
- 年間の稼働率ですが、中途採用目標数を修正したことによるエンジニア社員数の増加を見込んでいたため、下半期の稼働率は前期比▲0.9%の96.9%を見通しており、これにより年間稼働率は前期比▲0.7%の95.5%となる見込みです。
- これらの影響と、前期に発生した税負担の軽減等が今期はないことを踏まえ、当期純利益は、前期比▲13.9%、▲約1億円減益の9億円としました。

✓ 2017年12月に東京本社を移転 ⇒ 移転費用等を見積もり、業績予想を修正

## Next Stage 1 事業別戦略～事業の将来像と目標～



31

- 続いて、東京本社の移転についてです。
- 中期経営計画で掲げた事業別戦略の本社機能を一か所に集約し、台東区に移転致します。
- なお、本社移転に伴う費用については、今回、先行費用として特別損失を計上しておりますが、下半期には、先行費用に見合った補償金が得られることを織り込み、業績への影響は軽微です。
- 採用における利便性と経営における経済合理性の視点に基づきまして、移転を決定いたしました。

# 利益配分に関する基本方針

2017年5月改定  
 2011年5月改定  
 利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金\*を上回っていること  
 (\*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向

**100%以内を原則**

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の  
 取得・  
 保有・消却

自己株式の取得

総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

継続保有：上限2百万株

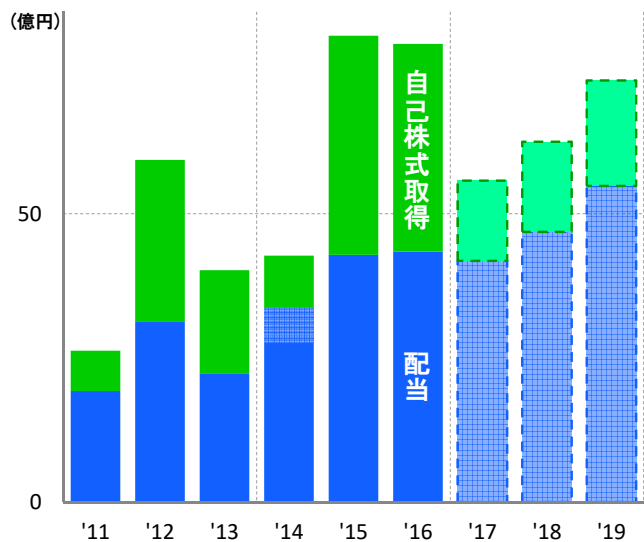
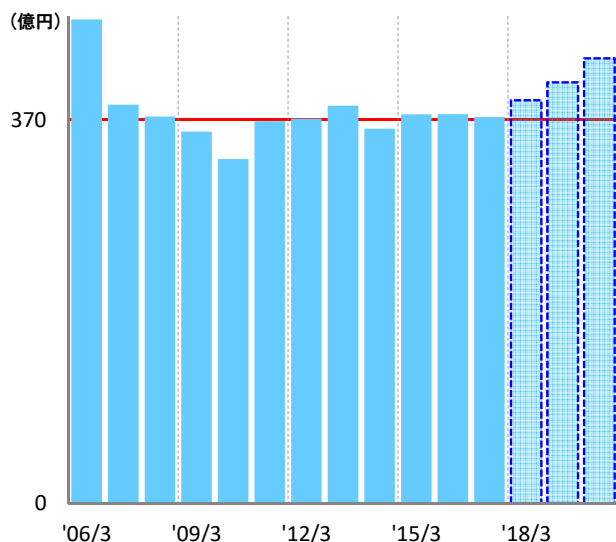
消却：上限超を消却

✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

- では最後に、利益配分の実績と予想についてご説明いたします。
- 2017年5月に改訂した「利益配分に関する基本方針」に変更はありません。

1. エンジニア社員数の増加に伴い自己資本の充実を図り、計画最終年度'20年3月末の自己資本を約400億円\*に積み増す  
 (\*期末配当控除後)

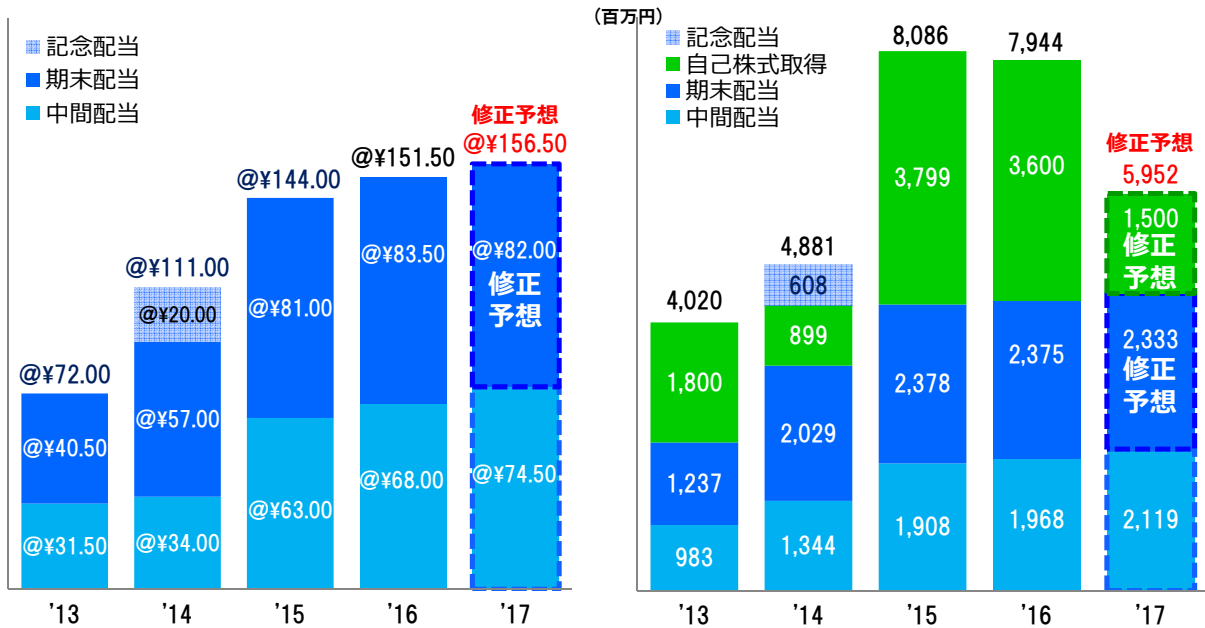
2. 3ヶ年の総還元性向は80%程度  
 (1) 配当性向60%  
 (2) 自己株式取得20%  
 (内訳は株主・投資家との対話を反映)



- また、2017年5月11日の決算説明会でご説明しておりますが、中期計画3ヶ年の利益配分計画についても変更はありません。

# 利益配分の実績と予想

- ✓ 業績予想修正に伴い、中期経営計画の利益配分計画 総還元性向80%程度（配当性向60%、自己株取得20%）に即して、利益配分を見直し
- ✓ 総還元性向80% = (普通配当44.5億円 + 自己株式取得額15億円) ÷ 当期純利益予想74億円



34

- 業績予想修正に伴い、中期計画3ヶ年の利益配分計画で掲げた、総還元性向80%程度、内訳は配当性向60%、自己株式取得20%に即し利益配分の見直しを行いました。
- 上半期の四半期純利益が期初予想を上回ったため、中間配当を見直し、期初予想比+9円の、1株あたり74円50銭に上方修正します。
- また、年間当期純利益予想は74億円の上方修正ですが、配当性向60%に基づき、期末配当は期初予想の82円50銭から▲50銭の82円とし、年間配当金は156円50銭、配当総額は44億50百万円となります。
- なお、自己株式の取得は期初予想の14億円から15億円へ上方修正いたしました。
- ご説明は以上となります。
- 中期経営計画で掲げた、積極的成長に向けた競争力の強化に向けて、グループ一丸となって、持続的な成長を実現しながら、社員の雇用、お客さまへの価値提供、株主還元に取り組んで参ります。
- 今後も当社へのより一層のご理解とご支援をお願い致します。
- ご清聴、ありがとうございました。



## 3. ご参考資料

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

Engineering Firm at The Core

一社でも多くのお客さまに、  
一人でも多くのエンジニアに、  
メイテックグループを活用いただき、  
感動や喜びを実感できる  
「機会と場」の拡大を目指します。

2017年度、メイテックグループはさらなる成長に向けて中期経営計画「Next Stage 1」を新たにスタートいたしました。人と技術で労働市場の核心を担う、プロのエンジニア集団として、オンリーワン企業を目指していきます。

代表取締役社長  
メイテックグループCEO 國分 秀世



# 2018年3月期 第2四半期業績 各社別の概況

- ✓ 2017年4月より、セグメント名称を変更
- ✓ エンジニア紹介事業 メイテックネクストの営業利益率は30%強

(百万円)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	35,544	8,163	1,441	55	818
前期比 増減額	+1,471	+944	+100	+9	+60
前期比 増減率	+4.3%	+13.1%	+7.5%	+21.1%	+7.9%
営業利益	4,430	677	60	△12	279
前期比 増減額	+330	+35	+11	+1	▲3
前期比 増減率	+8.1%	+5.6%	+23.8%	—	▲1.4%
経常利益	5,179	674	60	△12	279
当期純利益	3,608	462	41	△12	191

37

# 2018年3月期 各社別の業績予想

- ✓ 全社で増収見込みだが、システム関連費用等の増加で営業利益は前期比で減益見込み

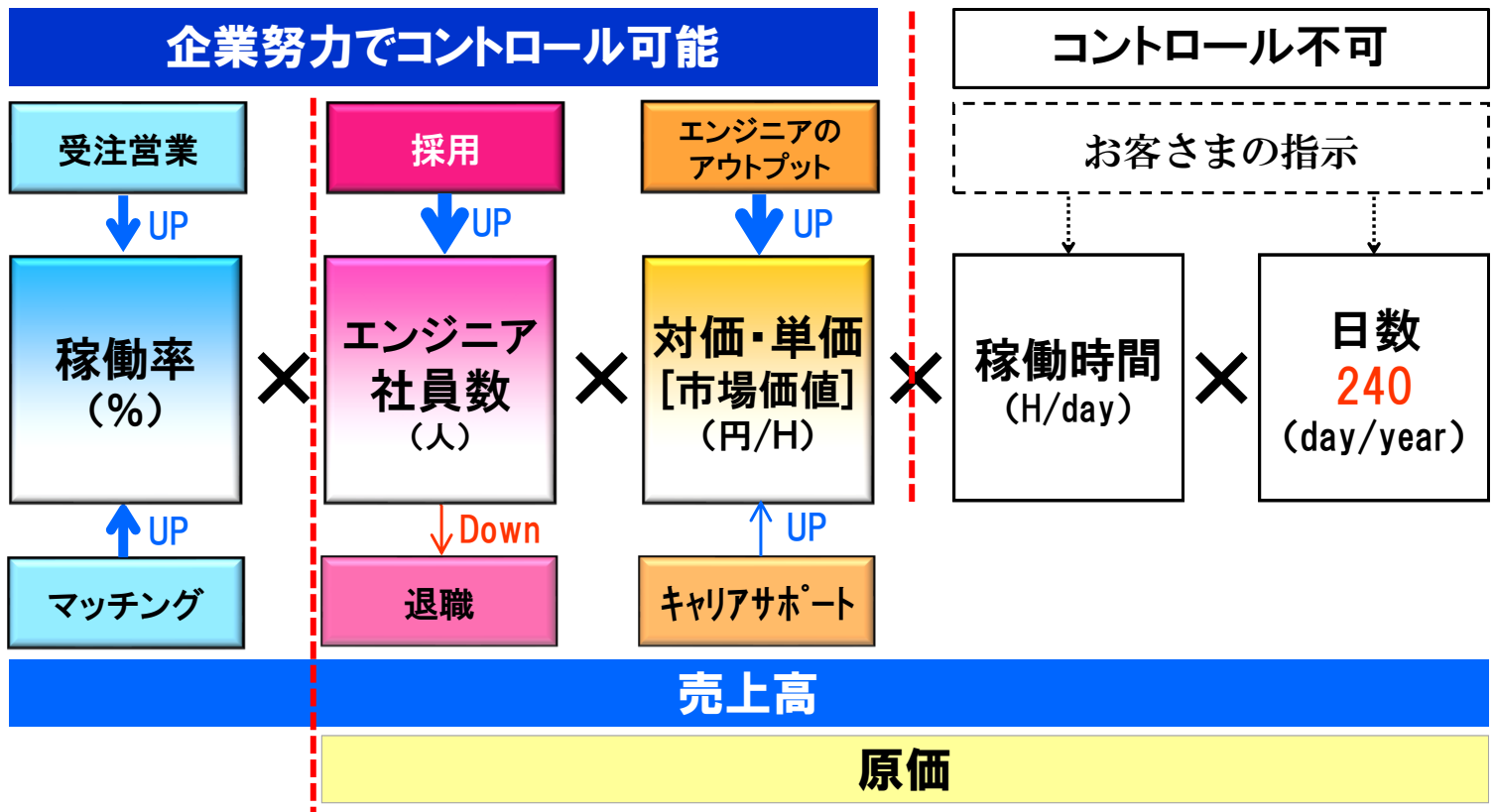
(百万円)	エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高	72,000	16,700	2,900	125	1,650
前期比 増減額	+1,916	+1,834	+160	+29	+166
前期比 増減率	+2.7%	+12.3%	+5.9%	+30.8%	+11.2%
営業利益	9,000	1,400	110	△20	500
前期比 増減額	▲213	+53	▲3	+9	▲17
前期比 増減率	▲2.3%	+4.0%	▲2.8%	—	▲3.3%
経常利益	9,700	1,400	110	△20	500
当期純利益	6,800	900	70	△20	300

38



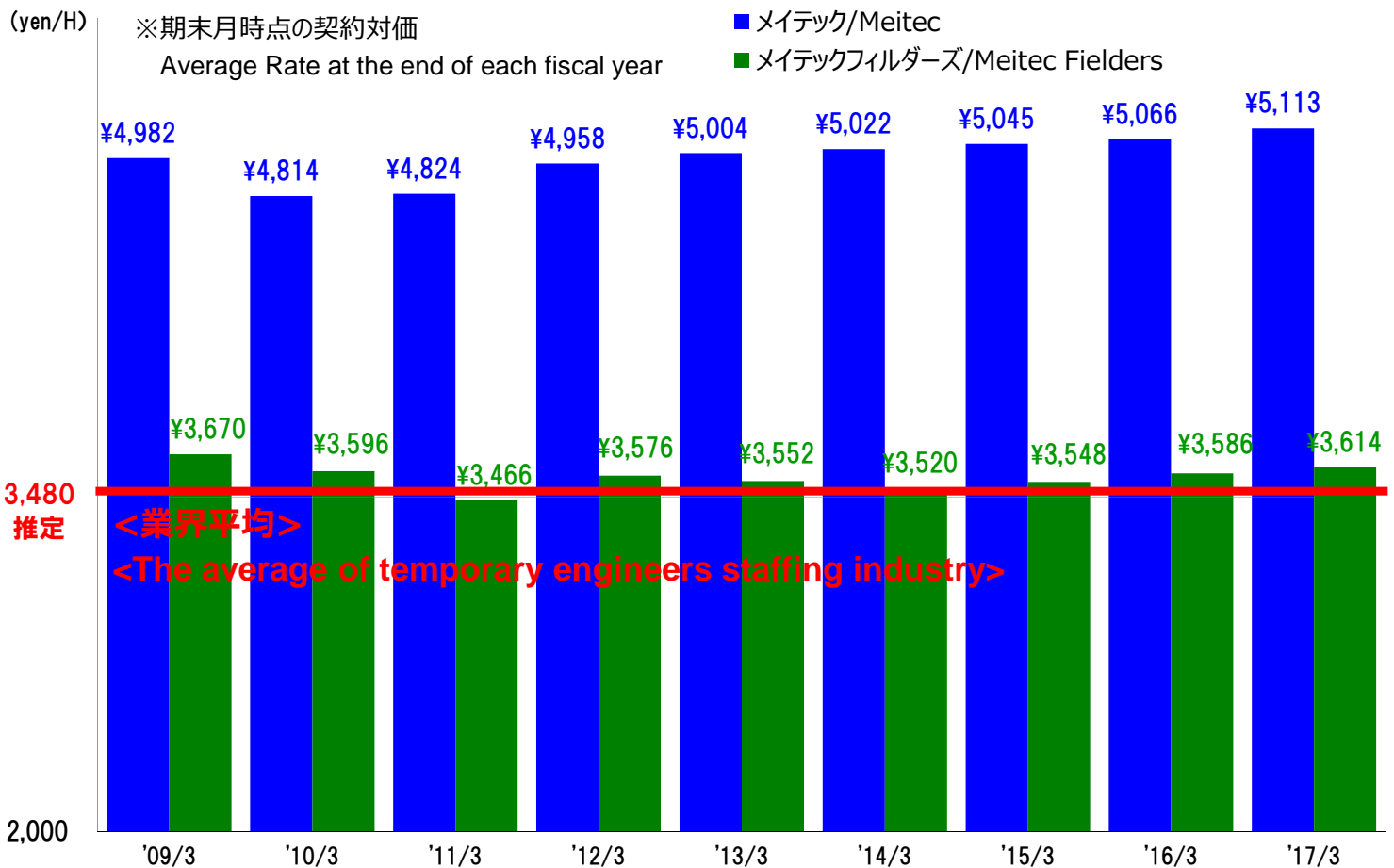
# 売上高・原価の概要(派遣型)

✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



39

## 対価・単価・(レート) = [市場価値]



40

# 業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年 3月期2Q	2018年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	6,283	7,517	8,574	9,221	10,091	28.4%	+870	+9.4%
航空機・ロケット関連	2,276	2,492	2,669	2,764	2,545	7.2%	△ 219	△7.9%
産業用機器、機械器具および装置関連	4,130	4,611	4,908	5,083	5,070	14.3%	△ 13	△0.3%
精密機器関連	2,194	2,335	2,468	2,553	2,831	8.0%	+277	+10.9%
情報通信機器関連	2,588	2,618	2,406	2,162	2,024	5.7%	△ 137	△6.3%
電気・電子機器、電気機械器具設計	3,946	3,886	4,016	4,045	4,229	11.9%	+184	+4.6%
半導体・集積回路関連	1,760	1,949	2,095	1,965	2,012	5.7%	+46	+2.4%
半導体製造装置関連	920	865	949	974	1,143	3.2%	+169	+17.4%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	1,843	2,036	2,357	2,400	2,603	7.3%	+203	+8.5%
プラント関連	778	888	1,103	1,238	1,284	3.6%	+46	+3.7%
建築関連	182	187	181	199	194	0.5%	△ 4	△2.3%
その他	1,246	1,293	1,399	1,464	1,513	4.3%	+49	+3.4%
合計	28,150	30,681	33,131	34,073	35,544	100.0%	+1,471	+4.3%

41

# 業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

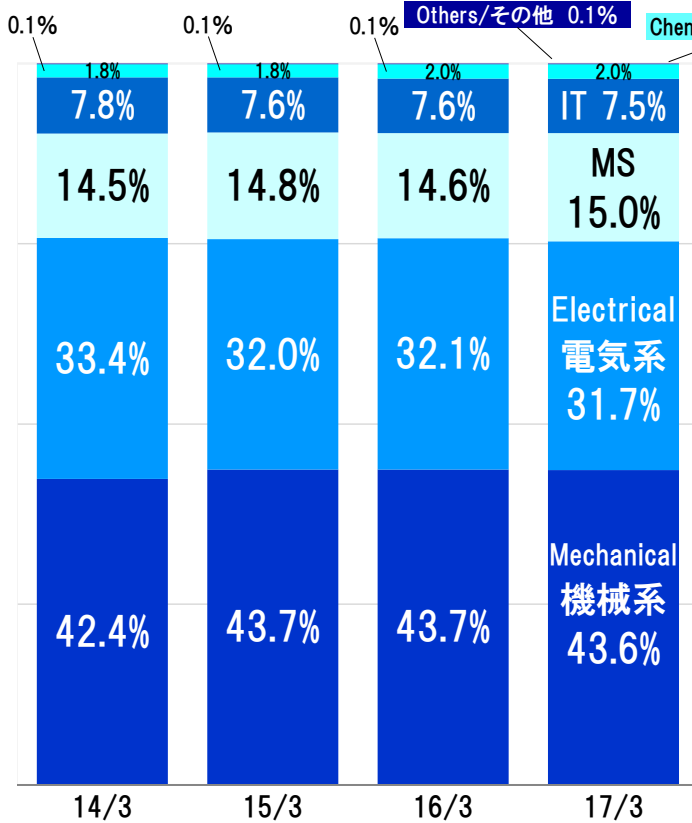
(百万円)

メイテックフィルダース	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年 3月期2Q	2018年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	1,551	1,981	2,385	2,682	2,861	35.0%	+178	+6.7%
航空機・ロケット関連	91	95	115	173	193	2.4%	+19	+11.5%
産業用機器、機械器具および装置関連	715	862	941	1,036	1,234	15.1%	+198	+19.1%
精密機器関連	763	820	808	836	1,014	12.4%	+177	+21.2%
情報通信機器関連	169	201	209	263	314	3.9%	+51	+19.6%
電気・電子機器、電気機械器具設計	735	768	819	874	978	12.0%	+104	+11.9%
半導体・集積回路関連	234	226	233	264	293	3.6%	+29	+11.1%
半導体製造装置関連	234	196	230	341	399	4.9%	+58	+17.1%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	111	164	168	164	219	2.7%	+55	+33.8%
プラント関連	132	183	225	263	298	3.7%	+35	+13.5%
建築関連	46	12	7	10	36	0.4%	+26	+263.5%
その他	249	241	242	307	317	3.9%	+10	+3.3%
合計	5,037	5,753	6,386	7,218	8,163	100.0%	+944	+13.1%

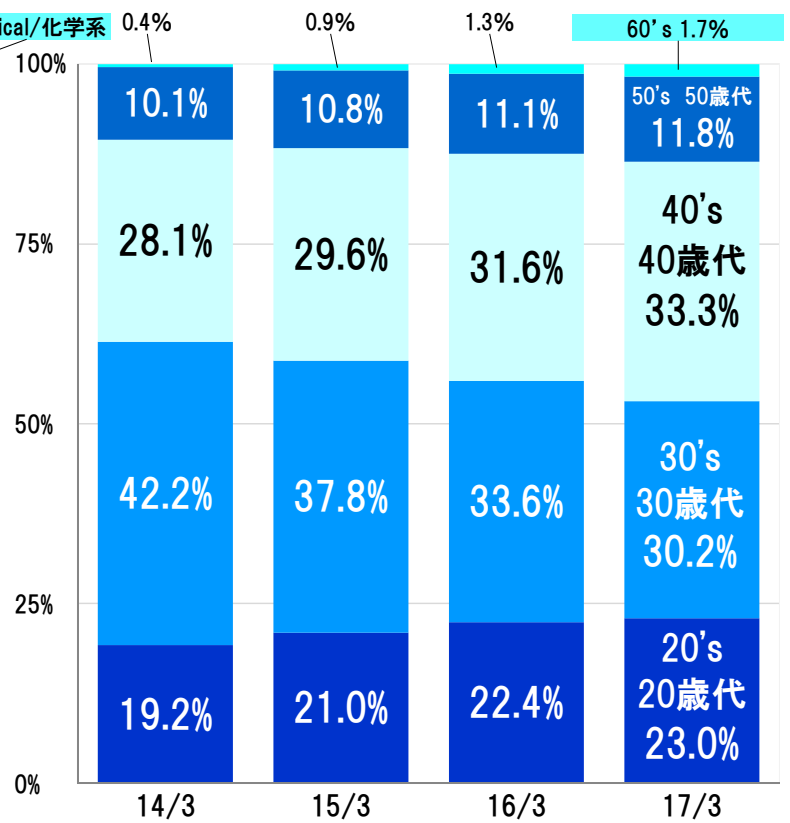
42

# メイテックエンジニアの構成

技術分野/Technical field



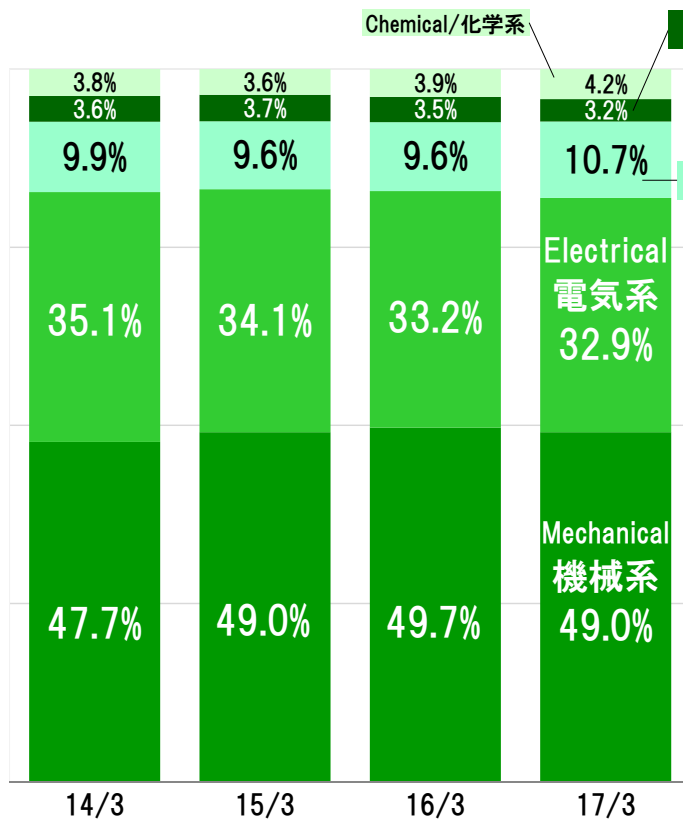
年齢/According to age



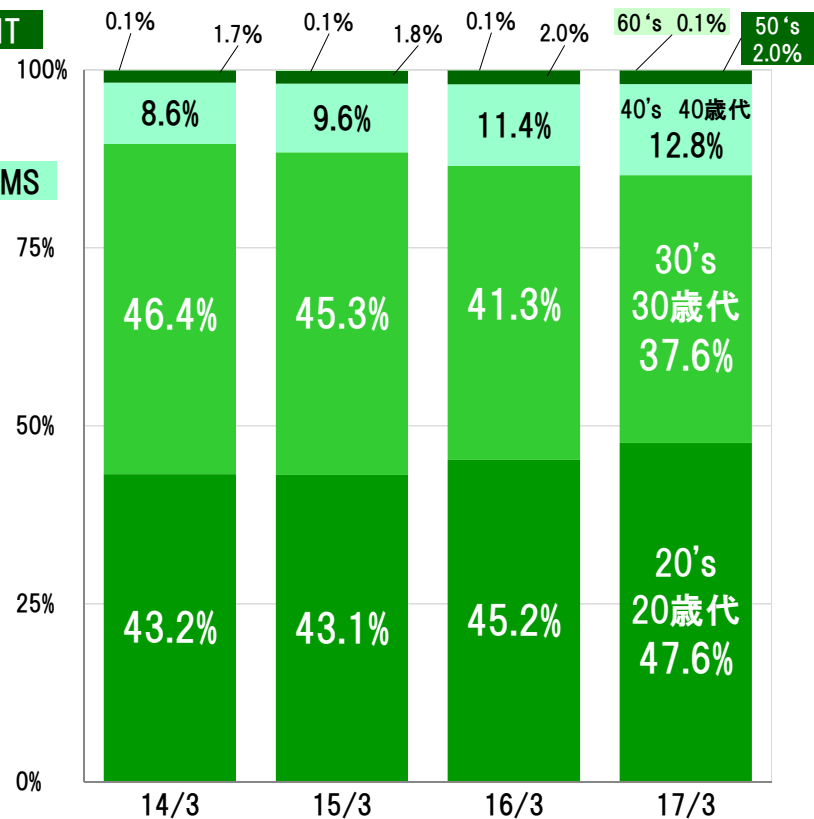
MS: Micro Computer System

# メイテックフィルダースエンジニアの構成

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

# 【連結】業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q
売上高	41,396	26,203	29,357	31,937	34,130	35,754	39,300	42,143	44,111	45,867
原価	29,429	23,478	23,628	24,052	25,119	26,607	29,366	31,321	32,861	34,049
原価率	71.1%	89.6%	80.5%	75.3%	73.6%	74.4%	74.7%	74.3%	74.5%	74.2%
売上総利益	11,966	2,724	5,728	7,885	9,010	9,146	9,934	10,821	11,249	11,817
販売費及び一般管理費	6,591	5,973	5,065	5,556	6,119	6,239	5,941	6,077	6,178	6,375
販管費率	15.9%	22.8%	17.3%	17.4%	17.9%	17.4%	15.1%	14.4%	14.0%	13.9%
営業利益	5,375	▲3,248	662	2,328	2,891	2,907	3,992	4,744	5,071	5,442
営業利益率	13.0%	▲12.4%	2.3%	7.3%	8.5%	8.1%	10.2%	11.3%	11.5%	11.9%
営業外収益	53	2,456	1,468	46	74	33	24	14	11	9
営業外費用	33	58	43	24	20	9	3	35	7	5
経常利益	5,395	▲850	2,087	2,350	2,945	2,931	4,012	4,723	5,074	5,447
経常利益率	13.0%	▲3.2%	7.1%	7.4%	8.6%	8.2%	10.2%	11.2%	11.5%	11.9%
特別利益	10	26	297	—	47	—	7	1,084	2	—
特別損失	60	26	83	2	206	18	3,464	30	3	60
税金等調整前四半期純利益	5,345	▲850	2,302	2,347	2,786	2,913	555	5,777	5,073	5,386
税金費用など	2,305	364	686	1,051	1,094	1,207	361	1,979	1,607	1,860
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,039	▲1,214	1,615	1,295	1,692	1,706	194	3,798	3,466	3,526
純利益率	7.3%	▲4.6%	5.5%	4.1%	5.0%	4.8%	0.5%	9.0%	7.9%	7.7%

45

# <メイテック>業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q
売上高	31,163	20,097	22,698	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131	34,073	35,544
原価	22,095	18,015	18,629	19,180	20,081	21,094	23,091	24,758	25,545	26,601
原価率	70.9%	89.6%	82.1%	75.9%	74.0%	74.9%	75.3%	74.7%	75.0%	74.8%
売上総利益	9,067	2,082	4,069	6,075	7,043	7,056	7,590	8,372	8,527	8,942
販売費及び一般管理費	4,082	4,013	3,829	4,131	4,583	4,664	4,325	4,444	4,426	4,512
販管費率	13.1%	20.0%	16.9%	16.4%	16.9%	16.6%	14.1%	13.4%	13.0%	12.7%
営業利益	4,985	▲1,931	239	1,944	2,460	2,392	3,265	3,927	4,100	4,430
営業利益率	16.0%	▲9.6%	1.1%	7.7%	9.1%	8.5%	10.6%	11.9%	12.0%	12.5%
営業外収益	510	2,070	1,350	337	291	403	435	497	585	751
営業外費用	24	28	16	19	11	4	3	30	6	2
経常利益	5,471	109	1,573	2,262	2,739	2,791	3,697	4,395	4,679	5,179
経常利益率	17.6%	0.5%	6.9%	9.0%	10.1%	9.9%	12.0%	13.3%	13.7%	14.6%
特別利益	5	1	1	—	—	—	8	1,084	15	30
特別損失	56	15	73	2	210	43	3,463	43	3	60
税引前四半期純利益	5,420	95	1,501	2,260	2,528	2,748	242	5,437	4,691	5,149
税金費用など	2,018	64	600	904	935	1,003	69	1,687	1,411	1,541
四半期純利益	3,402	31	900	1,356	1,593	1,745	172	3,749	3,279	3,608
純利益率	10.9%	0.2%	4.0%	5.4%	5.9%	6.2%	0.6%	11.3%	9.6%	10.2%

46

# <メイテックフィルダース>業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q
売上高	5,531	3,402	3,942	4,113	4,513	5,037	5,753	6,386	7,218	8,163
原価	4,029	3,372	3,138	3,134	3,436	3,879	4,453	4,965	5,637	6,357
原価率	72.8%	99.1%	79.6%	76.2%	76.1%	77.0%	77.4%	77.7%	78.1%	77.9%
売上総利益	1,502	30	804	978	1,076	1,157	1,300	1,421	1,580	1,806
販売費及び一般管理費	1,032	990	549	738	807	806	813	873	939	1,129
販管費率	18.7%	29.1%	13.9%	17.9%	17.9%	16.0%	14.1%	13.7%	13.0%	13.8%
営業利益	469	▲960	254	240	269	351	486	547	641	677
営業利益率	8.5%	▲28.2%	6.4%	5.8%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%
営業外収益	4	455	136	2	1	1	—	—	—	—
営業外費用	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2
経常利益	474	▲506	389	242	270	352	486	548	639	674
経常利益率	8.6%	▲14.9%	9.9%	5.9%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%	8.3%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	473	▲507	389	242	270	352	486	548	639	674
税金費用など	197	277	15	96	102	133	189	198	116	211
四半期純利益	276	▲785	373	145	167	218	297	349	523	462
純利益率	5.0%	▲23.1%	9.5%	3.5%	3.7%	4.3%	5.2%	5.5%	7.3%	5.7%

47

# <メイテックネクスト>業績推移

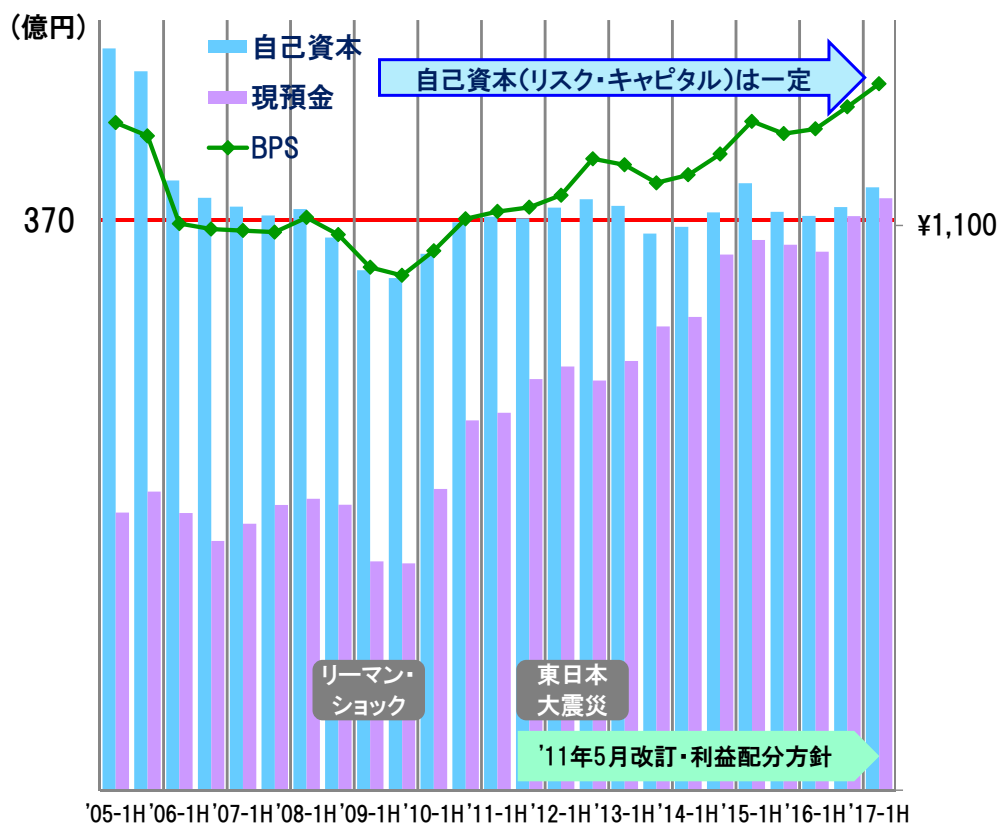
(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q	2017-2Q
売上高	275	173	215	283	368	447	536	639	758	818
原価										
原価率										
売上総利益	275	173	215	283	368	447	536	639	758	818
販売費及び一般管理費	289	180	162	203	246	278	355	435	475	539
販管費率	105.2%	104.0%	75.1%	71.7%	67.0%	62.2%	66.3%	68.0%	62.6%	65.9%
営業利益	▲14	▲6	53	80	121	169	180	204	283	279
営業利益率	▲5.2%	▲4.0%	24.9%	28.3%	33.0%	37.8%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%
営業外収益	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益	▲14	▲6	55	80	121	169	180	204	283	279
経常利益率	▲5.2%	▲3.9%	25.5%	28.4%	33.0%	37.9%	33.7%	32.0%	37.4%	34.1%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	▲14	▲6	54	80	121	169	180	204	283	278
税金費用など	—	—	—	—	9	55	64	67	90	87
四半期純利益	▲14	▲7	54	80	112	114	116	136	193	191
純利益率	▲5.3%	▲4.1%	25.1%	28.4%	30.5%	25.5%	21.6%	21.4%	25.5%	23.4%

48

(百万円)	2007/9/30	2008/9/30	2009/9/30	2010/9/30	2011/9/30	2012/9/30	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30	2017/9/30
現金・預金	17,295	18,925	14,851	19,548	24,504	27,506	27,866	30,719	35,716	34,954	38,425
受取手形・売掛金	12,687	12,395	8,016	9,389	9,391	10,036	10,070	11,680	12,048	12,695	13,354
流動資産合計	36,141	35,285	27,391	32,210	37,128	40,935	42,090	46,427	52,071	52,568	55,645
有形固定資産合計	13,873	13,093	12,390	11,986	11,465	10,920	10,785	7,333	5,980	5,632	5,498
固定資産合計	22,004	22,280	19,823	18,600	17,494	16,215	15,799	12,393	12,271	11,183	11,743
資産合計	58,146	57,565	47,214	50,811	54,623	57,150	57,890	58,821	64,343	63,752	67,389
流動負債合計	13,363	12,807	5,762	7,488	8,409	9,760	9,642	11,351	12,850	12,923	14,119
固定負債合計	6,634	6,708	7,423	8,271	8,890	9,496	10,256	10,857	12,046	13,555	14,133
負債合計	19,997	19,516	13,185	15,760	17,299	19,257	19,898	22,209	24,897	26,478	28,252
株主資本	38,541	38,474	34,604	35,716	38,146	38,744	38,816	38,401	41,387	39,570	41,118
その他	▲393	▲424	▲575	▲666	▲822	▲851	▲824	▲1,789	▲1,941	▲2,296	▲1,981
純資産合計	38,148	38,049	34,028	35,050	37,324	37,893	37,991	36,612	39,445	37,273	39,136

## 自己資本・現預金

✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠  
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

# 利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	実績 2016年度	予想 2017年度	
(百万円未満・四捨五入)														
総還元性向(連結)	159.0%	2,800.4%	112.7%	123.6%	—	24.7%	92.9%	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.4%	
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	55.2%	60.2%	
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%		
年間配当	1株当たり 金額(百万円)	@¥90.50 3,329	@¥89.00 3,162	@¥72.00 2,488	@¥75.00 2,518	@¥24.50 812	@¥27.50 911	@¥58.50 1,925	@¥99.00 3,134	@¥72.00 2,220	@¥111.00 3,373	@¥144.00 4,286	@¥151.50 4,344	@¥156.50 4,452
中間配当	1株当たり 金額(百万円)	@¥44.00 1,630	@¥44.00 1,579	@¥37.50 1,304	@¥47.00 1,590	@¥24.50 812		@¥29.00 961	@¥30.00 981	@¥31.50 983	@¥44.00 1,344	@¥63.00 1,908	@¥68.00 1,968	@¥74.50 2,119
期末配当	1株当たり 金額(百万円)	@¥46.50 1,699	@¥45.00 1,583	@¥34.50 1,184	@¥28.00 928		@¥27.50 911	@¥29.50 965	@¥69.00 2,153	@¥40.50 1,237	@¥67.00 2,029	@¥81.00 2,378	@¥83.50 2,375	@¥82.00 2,333
自己株式取得	株数(千株) 金額(百万円)	1,405 5,100	1,353 5,099	857 3,100	1,174 2,800			421 700	1,506 2,800	641 1,800	269 899	921 3,799	915 3,600	1,500
総利益配分額 (百万円)		8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	5,952
株式消却	株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	900	1,300	
株価	期初4月1日 期末3月31日	¥3,830 ¥3,870	¥3,870 ¥3,800	¥3,860 ¥3,020	¥3,040 ¥1,216	¥1,242 ¥1,831	¥1,893 ¥1,664	¥1,621 ¥1,669	¥1,681 ¥2,343	¥2,193 ¥2,930	¥2,857 ¥4,025	¥3,965 ¥3,935	¥3,865 ¥4,520	¥4,505
1株当たり当期純利益		@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥274.32	@¥260.14
1株当たり純資産		@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	@¥1,330.57	

51

# 株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2017年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	10	0.2%	706,601	2.4%
信託銀行	18	0.4%	7,912,200	26.4%
生保・損保会社	21	0.4%	4,193,283	14.0%
証券金融・その他金融会社	7	0.1%	16,260	0.1%
証券会社	34	0.7%	384,873	1.3%
事業会社・その他法人	81	1.6%	188,127	0.6%
外国法人・外国人	237	4.7%	12,187,316	40.6%
個人その他	4,654	91.9%	4,411,340	14.7%
合計	5,062	100.0%	30,000,000	100.0%

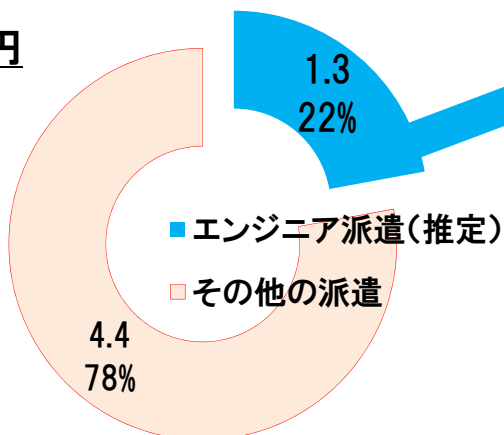
52



✓ 2015年度派遣料金は、法改正前の2015年4月1日から2015年9月29日までを集計した平均値

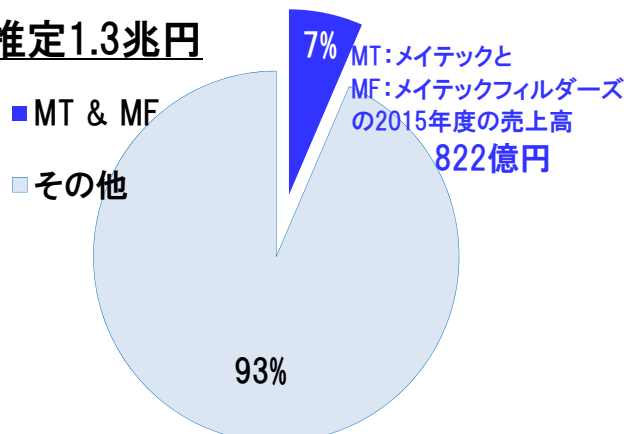
## 2015年度の労働者派遣事業・売上高

5.7兆円



## エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

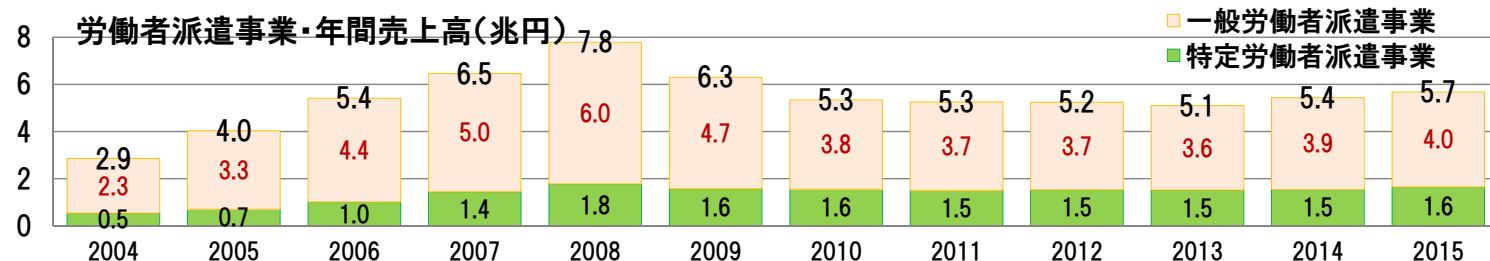


メイテック  
@¥5,045  
(2015年3月)

エンジニア派遣  
@¥3,380  
(推定)

特定派遣  
@¥2,978

一般派遣  
@¥2,081



出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

53

# コーポレート・ガバナンス

## I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社

### 2. 会社独自の取り組み

#### ① コーポレートガバナンス委員会

委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

#### ② 役員人事諮問委員会

委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

##### プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

## II. 取締役・監査役(2017年6月22日現在)

取締役 8名(うち社外2名、独立2名)

監査役 4名(うち社外4名、独立4名)

※独立役員の資格を満たす社外役員すべてを独立役員として指定

## III. 役員報酬

### 固定報酬

	2016年4月1日～	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
(COO)		
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

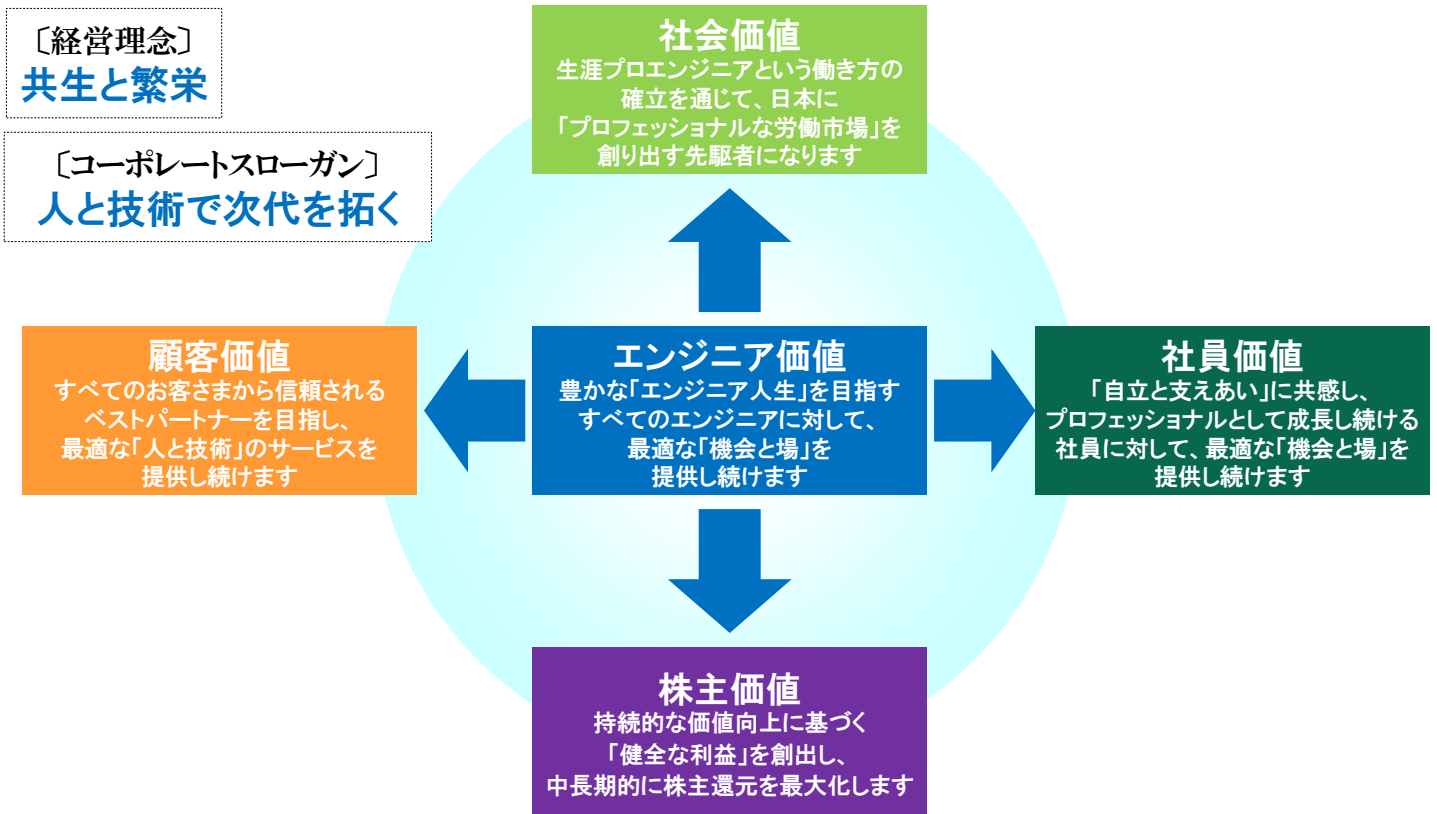
### 業績連動報酬など

	2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%	
	上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

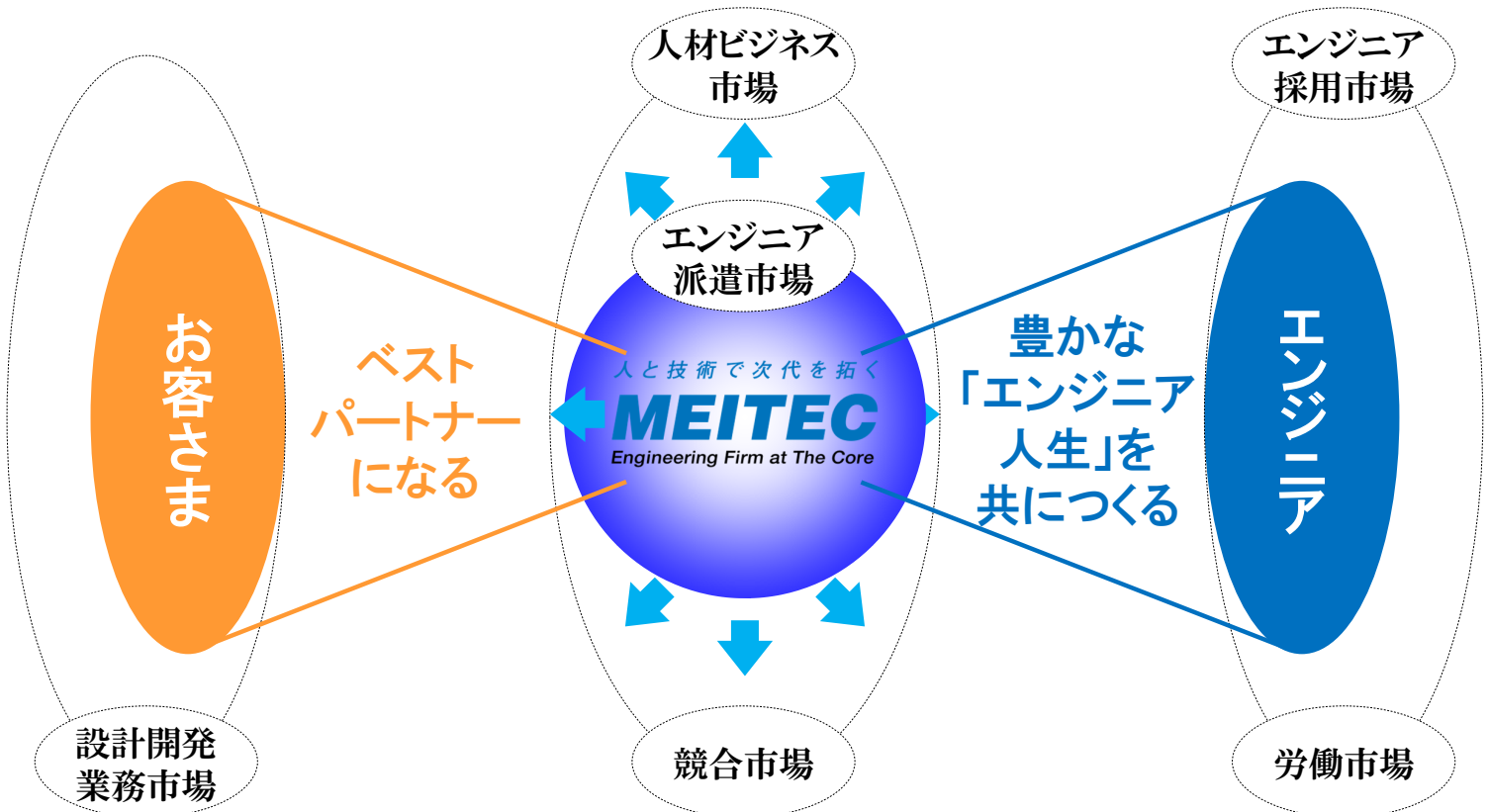
54



私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます



## メイテックグループの価値提供先



## Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、  
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、  
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、  
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の  
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。

人と技術で次代を拓く  
**MEITEC**  
Engineering Firm at The Core

57

## Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが  
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、  
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

## The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を  
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、  
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

## メイテックグループ中期経営計画(2017-2019)

# Next Stage 1

### Next Stage 1 2019年度 収益目標

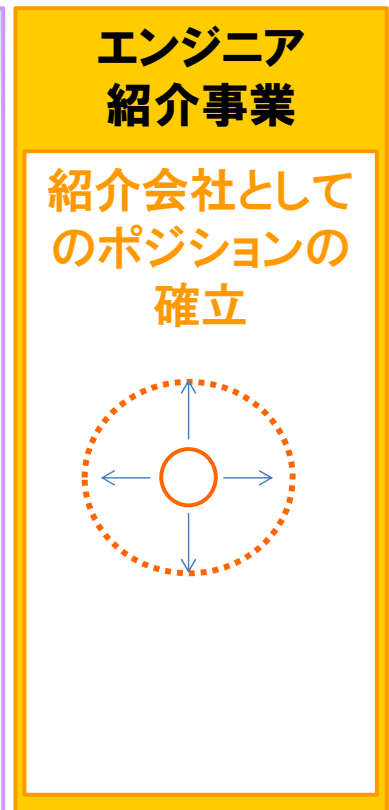
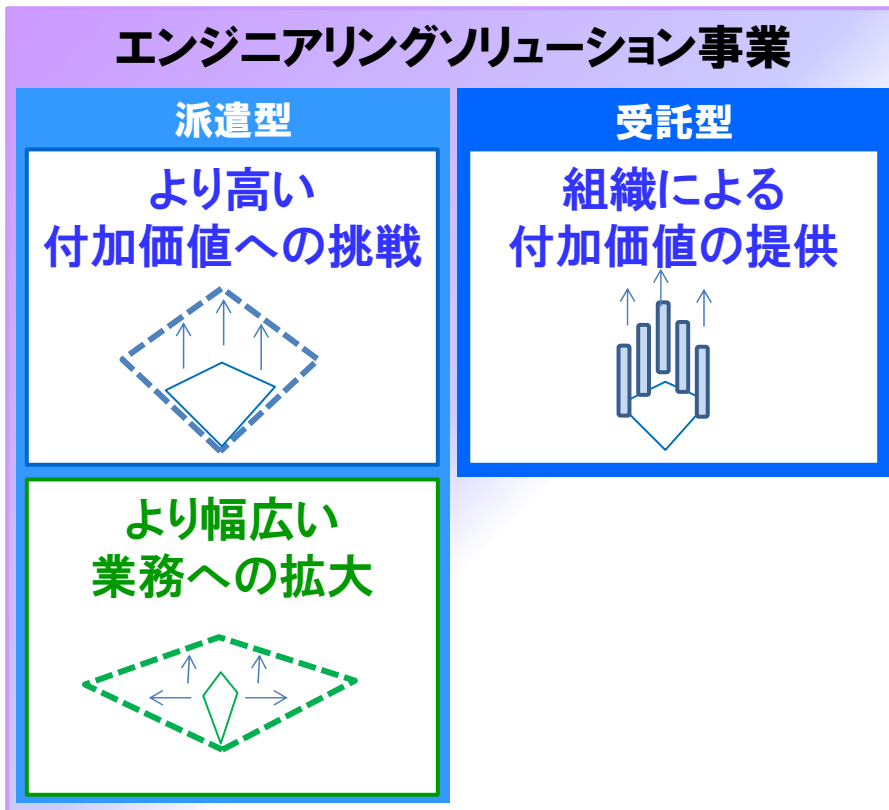


### 積極的成長に向けた競争力の強化

2019年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア 紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,000億円	780億円	200億円	24億円
営業利益	130億円	100億円	17億円	6億円
営業利益率	13%	13%	9%	25%
当期純利益	90億円			
ROE	20%			

✓ 利益配分の基本方針を若干見直して、3ヶ年の利益配分計画を策定

## 積極的成長に向けた競争力の強化



61

# Next Stage 1 事業別戦略～事業の将来像と目標～



62

本 社	東京都港区赤坂（2017年12月より東京都台東区上野へ移転予定）
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックフィルダーズ</li> <li>■ 株式会社メイテックキャスト</li> <li>■ 株式会社メイテックEX</li> <li>■ 株式会社メイテックビジネスサービス</li> </ul> <p>【エンジニア紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックネクスト</li> </ul>

人と技術で次代を拓く

# MEITEC

Engineering Firm at The Core